

ゴールドマン・サックス 大学受験給付型奨学金(2022)

アンケート調査分析・報告 保護者編・子ども編



Goldman
Sachs

Gives

ゴールドマン・サックス



認定 NPO 法人キッズドア基金



認定 NPO 法人キッズドア

2023年5月

認定 NPO 法人キッズドア ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金 受給生アンケート 保護者編

2023 年 5 月 16 日 認定 NPO 法人キッズドア

2022 年度ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金の受給生の保護者を対象に、2023 年 4 月以降の子どもの進路、受験期間の経験や保護者自身の気持ち、奨学金や伴走支援についての感想等についてアンケート調査を実施した。調査及び結果について、以下のとおり報告する。

1. アンケート調査について（概要）

- 目的：困窮家庭の高校生の進路や進学における課題、奨学金や伴走支援の効果等を把握し、奨学金事業をはじめとする支援策の改善・充実につなげること。
- 対象：2022 年度ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金の受給生の保護者
- 調査期間：2023 年 3 月 13 日～4 月 2 日
- 関連調査：保護者向けの調査は受給決定時に実施なし
- 回答数：500 件（回収率 86%）

2. 調査結果まとめ

本調査からは、家庭の経済状況により子どもの進路を狭めたくないという、保護者の切実な思いが浮かび上がっている。家庭の努力にもかかわらず、実際には、参考書や文房具が購入できない子どもや、自宅に集中して勉強できるスペースがない子ども、複数校の受験料が用意できないことで合格可能性の高い学校に絞って受験をする子どもが多く見られる。受験期間中の支援を行う奨学金が非常に少ないことに加え、「食費の捻出にも苦勞する中、大学進学を志すことは贅沢だと言われた」という声からも伺えるように、困窮家庭の子ども達の進学を応援する存在は限られているのが現状である。

そのような状況の中、ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金は、受験期間と進学前の 2 回に分けて支援金を拠出し、かつ受験期間に文房具等の応援パックや学習支援・受験支援につながる情報及びメッセージを定期的に届けることで、大学受験に挑戦する子ども達の後押しを行った。結果として、「温かい安心感をもたらした」「進学準備金として早期に支給してくれて助かった」「子どもに人生を諦めさせずにすんだ」などの感謝の声が寄せられており、困窮家庭への経済的・精神的な支援につながっている。

また今回の調査では、子どもの大学受験が保護者や家庭に好影響を与えていることも明らかになった。子ども達自身の進路選択の可能性を広げることに加えて、保護者に前向きな気持ちをもたらしたり、兄弟や周囲の人達に希望を与えたりという効果が得られている。保護者のコメントにも「貧困の連鎖」「格差」という言葉が見られたが、大学進学は子ども達が自らの手で困窮から抜け出すための有効な手段である。進学を望む子ども達の後押しとなるよう、進学後のみならず、進学前の支援の充実が望まれる。

- 回答者の属性
 - 9 割の家庭において世帯年収が 300 万円未満。
- 子どもの受験状況及び今後の進路
 - 2023 年 4 月以降の子どもの進路は、4 年制大学が約 8 割、短期大学（3 年制含む）、専門学校がいずれも 5%。決定した進学先の受験方法は、一般選抜が 40%と最も多く、学校推薦型が 29%、総合型選抜（AO 入試）が 16%と続く。

- 受験した学校数は1校（推薦含む）が約半数と最も多い。
- 約9割の家庭が経済的理由により子どもの進学に影響があったと回答しており、44%が「塾・予備校に通わなかった、減らした」、39%が「受験学校数を減らした」、26%が「進学のために子どもがアルバイトを始めた、増やしたりした」を選択。
- 受験や進学のコスト
 - 受験のために有料の塾や予備校を自費で利用した割合は44%。年間費用は「50 - 100万円未満」が31%と最も多い。
 - 入学金の調達方法は「親が準備した自己資金」が50%と最も多く、次いで「子どもが準備した自己資金」が17%、「親族からの援助」が13%。
 - 98%が子どもの進学後に奨学金を利用予定。
- ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金の用途
 - 受給決定後すぐに給付される受験応援金（5万円）の使い道は「受験料」が60%と最も多く、「参考書、テキスト」、「塾・予備校」と続く。
 - 入学準備金（10万円）は約半数が「入学金」に活用。「その他」13%の中には、大学で使用するPCを購入するという回答が多数見られた。
- 進学に必要な支援
 - 進学に関して必要な支援は、「受験料に対する免除、補助」が73%で最も多く、「高校生への児童手当の支給」が63%、「奨学金支給時期の早期化」が56%、「塾・予備校費用に対する補助」が52%と続く。
- 子どもの受験が家庭に前向きな影響をもたらしている
 - 95%の保護者が子どもの受験によって前向きな気持ちになったと回答。子どもが受験をしたことで自身や家庭によい影響があったという回答は89%。
 - 子どもが受験してよかったと思った場面や内容としては、子どもが将来の夢に近づいた、選択肢が広がった、保護者もよい影響を受けたなどが挙げられた。
 - 上記に関して以下のようなコメントが寄せられている。“今まで家庭の経済的状況で様々なことをあきらめさせてしまいましたが、志望していた医学部医学科に合格できたことで、人生までは諦めずに済みました”、“うちは私を含め上の子も親も大学進学した者が誰もいません。貧困と低学歴連鎖です。初めて大学進学させる事が出来、心から良かったと思っています”、“子供の受験を機に、私も職場の昇格試験を受けてみました。結果は合格し、お給料も少しだけ上がりました”
- ゴールドマン・サックスに対して沢山の感謝のメッセージが届いている
 - 支援を行ったゴールドマン・サックスに対しては、受験や進学ができたことへの感謝の気持ちが多く寄せられた。また、受験応援や、入学準備等の早い時期に奨学金を受け取れることが有用だったとする回答も多く、本支援の継続への期待も大きい。
 - 上記に関して以下のようなコメントが寄せられている。“受験のための参考書や塾代など綱渡り状態で日々を過ごしていた自分達にポッと光が灯ったような、そんな温かい安心感もいただきました”、“いつもちょうどいいタイミングで必要な受験に関する情報を教えて頂き本当に助かりました。合格グッズも応援していただいているんだと感じて、心強い気持ちになりました”、“参考書代や塾代、受験料等受験期間にかかる費用も多い中で進学準備金として早期に支給してくださってとても助かりました”
- 受験や進学に対する支援の拡充が求められている
 - “進学に関し、格差の拡大を親子共々実感している。生まれた環境で進学の道を閉ざされる

ことなく、希望すればどの子供も進学できるようになってほしい”といった、経済的格差が子どもの進路選択に影響を与えている現状を是正してほしいという声が目立つ。

- “金額が増えると助かるのですが、これは国に要望することと思っています”など、行政からの支援を求める声も複数見られた。
- 支援の認知向上を求める声も多数。

3. アンケート結果概要

3.1 家庭の状況

2022年の世帯年収は、「100万円未満」(33%)、「100～200万円未満」(32%)が多く、「200～300万円未満」(25%)も合わせると、年収300万円未満が9割を占める。自身と子どもを含む同居人数は、「3人」(36%)、「4人」(24%)、「2人」(21%)の順に多く、「社会的養護(児童養護施設、里親等)」は7%となっている。

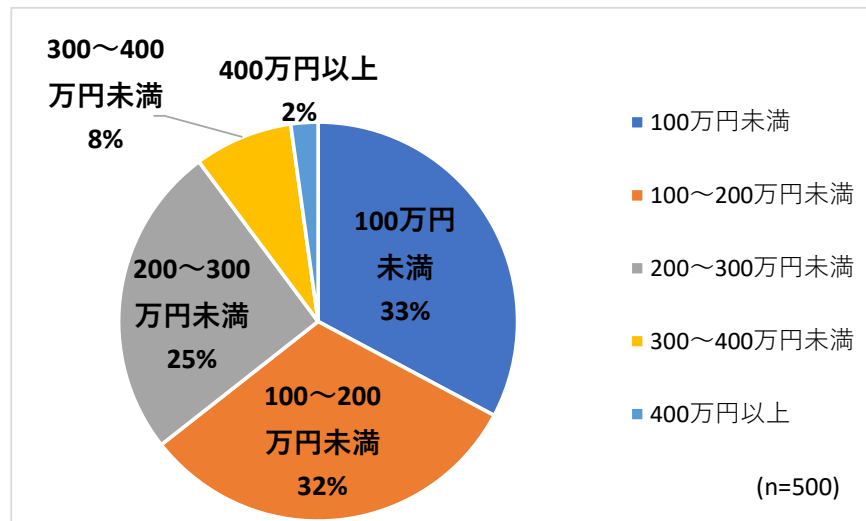


図 1 2022年の世帯年収

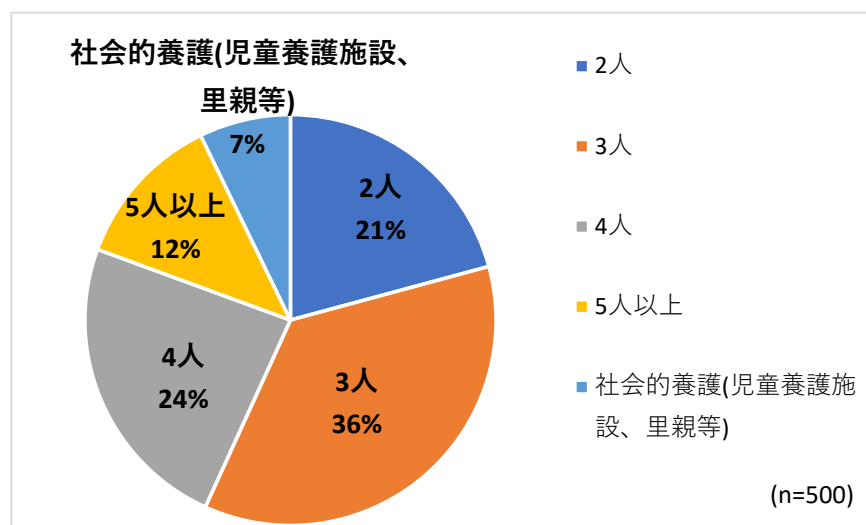


図 2 自身と子どもを含む同居人数

3.2 受験と 2023 年 4 月以降の進路

「子どもが受験をしたか」との質問には 97%が「はい」と回答している。「いいえ」(3%)と回答した者の受験をしなかった理由としては、受験や進学後に必要な費用を準備できなかったこと、進学より就職が合っていると判断したことなどが挙げられている。

2023 年 4 月以降の子どもの進路としては、「大学」(78%)が約 8 割を占め、「短期大学・3 年制大学」・「専門学校」(いずれも 5%)と合わせると約 9 割が進学という結果となった。決定した進学先の受験方法では、「一般選抜」が 40%と最も多く、「学校推薦型」(29%)、「総合型選抜 (AO 入試)」(16%)が続いている。受験した学校数については、「1 校 (推薦含む)」(49%)が半数と多いものの、残りの半数は複数校であり、5 校以上を受験した回答者も 1 割程度いる。

経済的理由による子どもの進学への影響としては、「塾・予備校に通わなかった、減らした」(44%)、「受験学校数を減らした」(39%)、「進学のために子どもがアルバイトを始めたり、増やしたりした」(26%)といった回答が上位であった。「影響はない」(12%)との回答は 1 割程度に止まる。

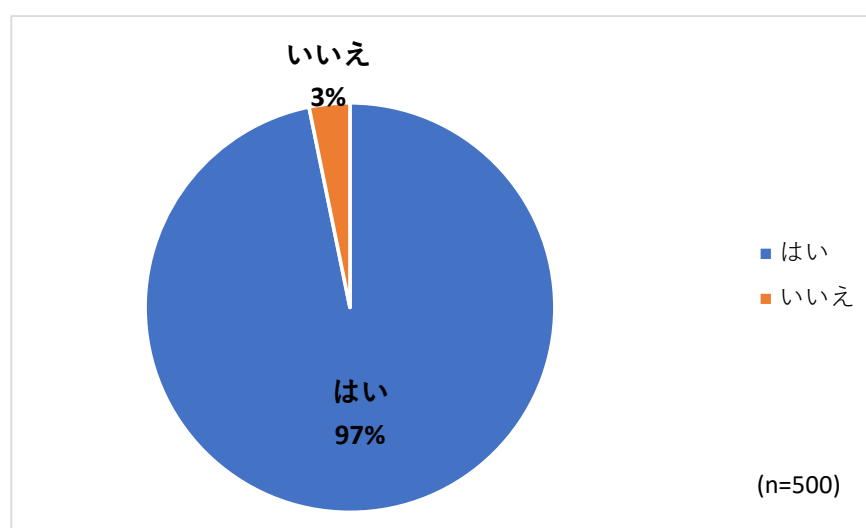


図 3 子どもが受験をしたか

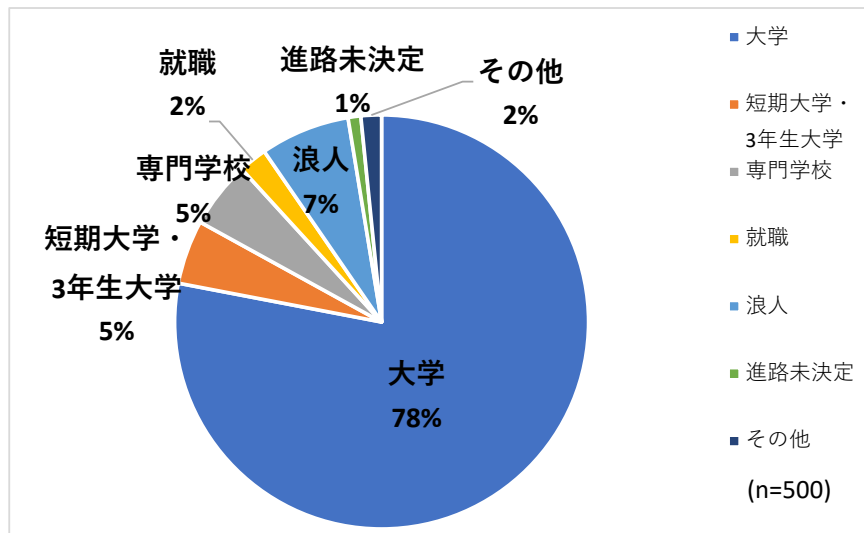


図 4 2023年4月以降の子どもの進路

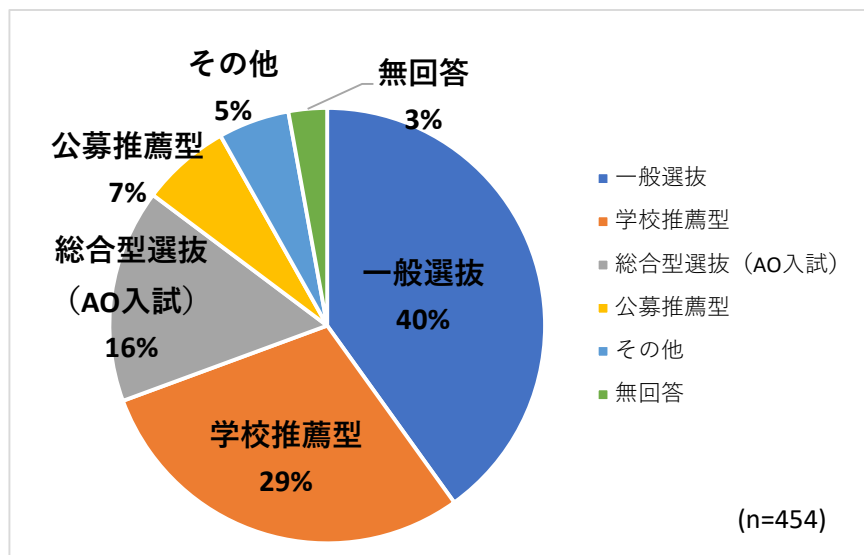


図 5 決定した進学先の受験方法¹

¹ 2023年度の進路が「浪人」または「就職」である回答者を除いた者が対象。

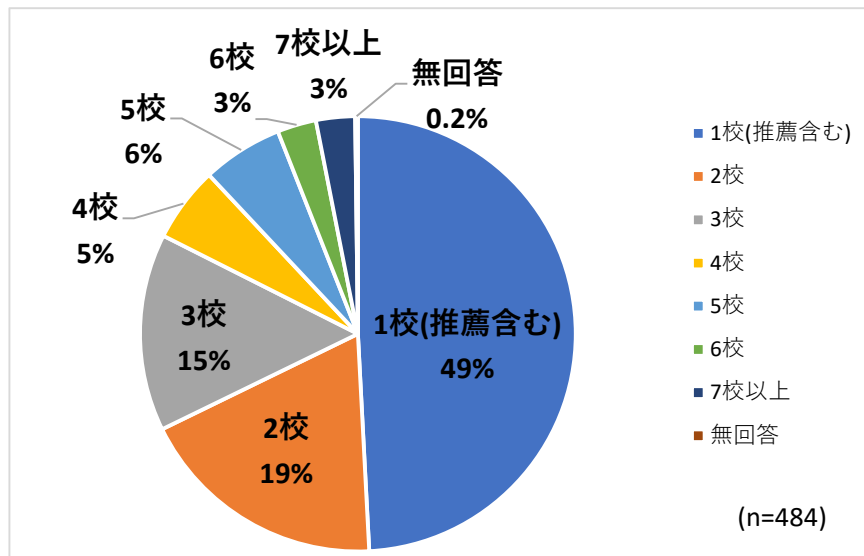


図 6 受験した学校数²

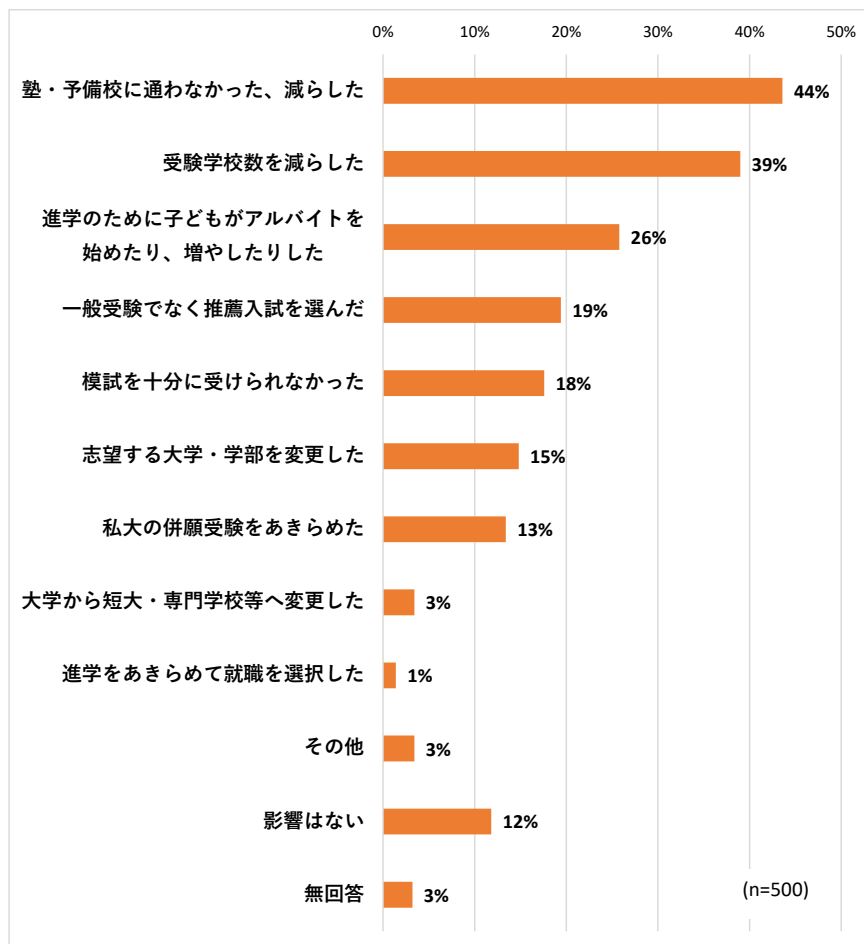


図 7 経済的理由による子どもの進学への影響（複数回答）

² 2022 年度に受験をした回答者が対象。

3.3 受験や進学にかかるお金

受験のために有料の塾や予備校を自費で利用したかという質問に対しては、44%が「はい」と回答した。その年間費用としては、「50-100万円未満」が31%と最も多く、「10-30万円未満」・「30-50万円未満」（いずれも23%）が続いている。「100万円以上」（8%）との回答も一割程度あった。

進学準備にかかった費用では、「10-30万円未満」（38%）が最多であった。入学金の調達方法として最も多く挙げられたのは「親が準備した自己資金（預貯金等）」（50%）であり、「子どもが準備した自己資金（アルバイト等）」は17%、「親族からの援助」は13%となっている。「金融機関の貸付（日本政策金融公庫、共育プラザローン等）」・「社会福祉協議会等の貸付」はいずれも13%である。「その他」の具体的な内容としては、各種奨学金や入学金免除等が挙げられている。

進学後に利用予定の奨学金では、「日本学生支援機構の給付型奨学金（高等教育修学支援制度）」（87%）を約9割の回答者が挙げている。この他には、「日本学生支援機構の貸与型奨学金第一種（無利子）」（25%）、「日本学生支援機構の貸与型奨学金第一種（有利子）」（19%）、「民間の給付型奨学金」（13%）などを利用予定の回答者が多い。「奨学金は利用しない」との回答は2%となっている。

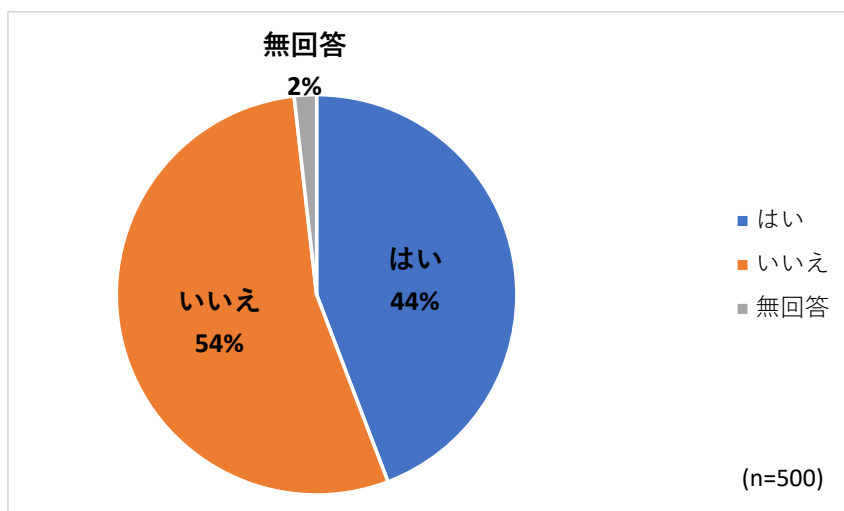


図 8 受験のために有料の塾や予備校を自費で利用したか

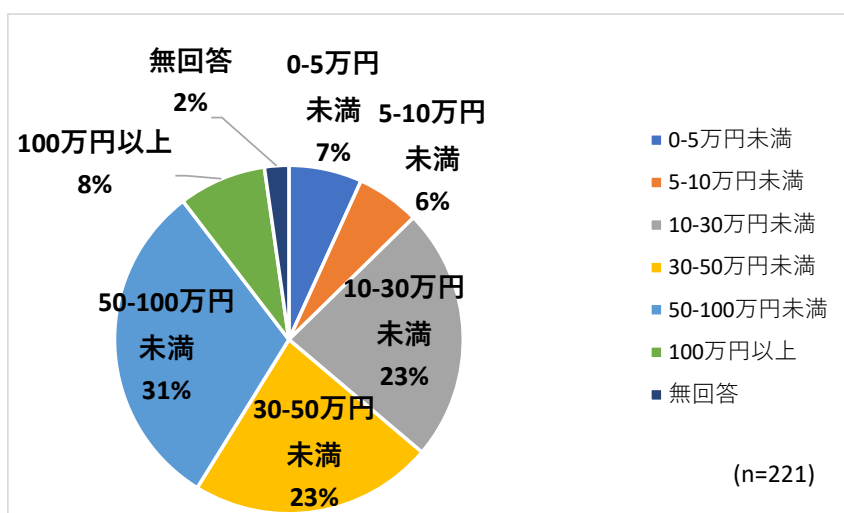


図 9 塾や予備校の年間費用³

³ 受験のために有料の塾や予備校を自費で利用した回答者が対象。

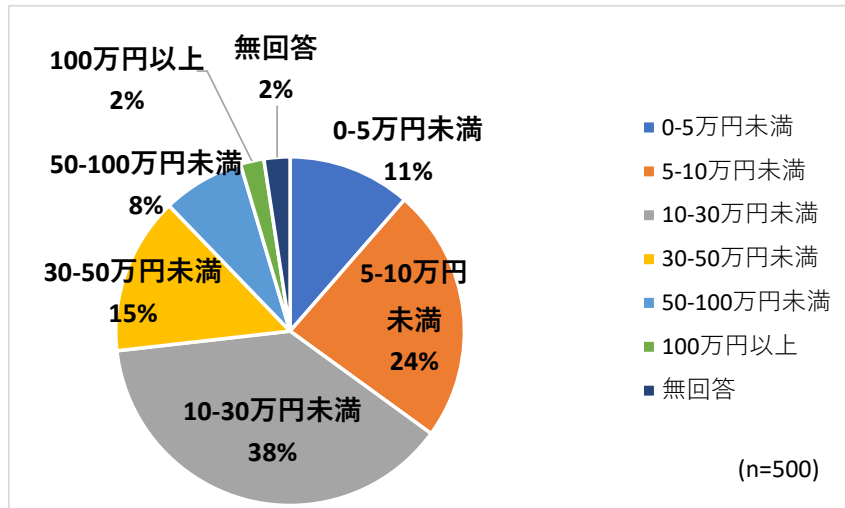


図 10 進学準備にかかった費用

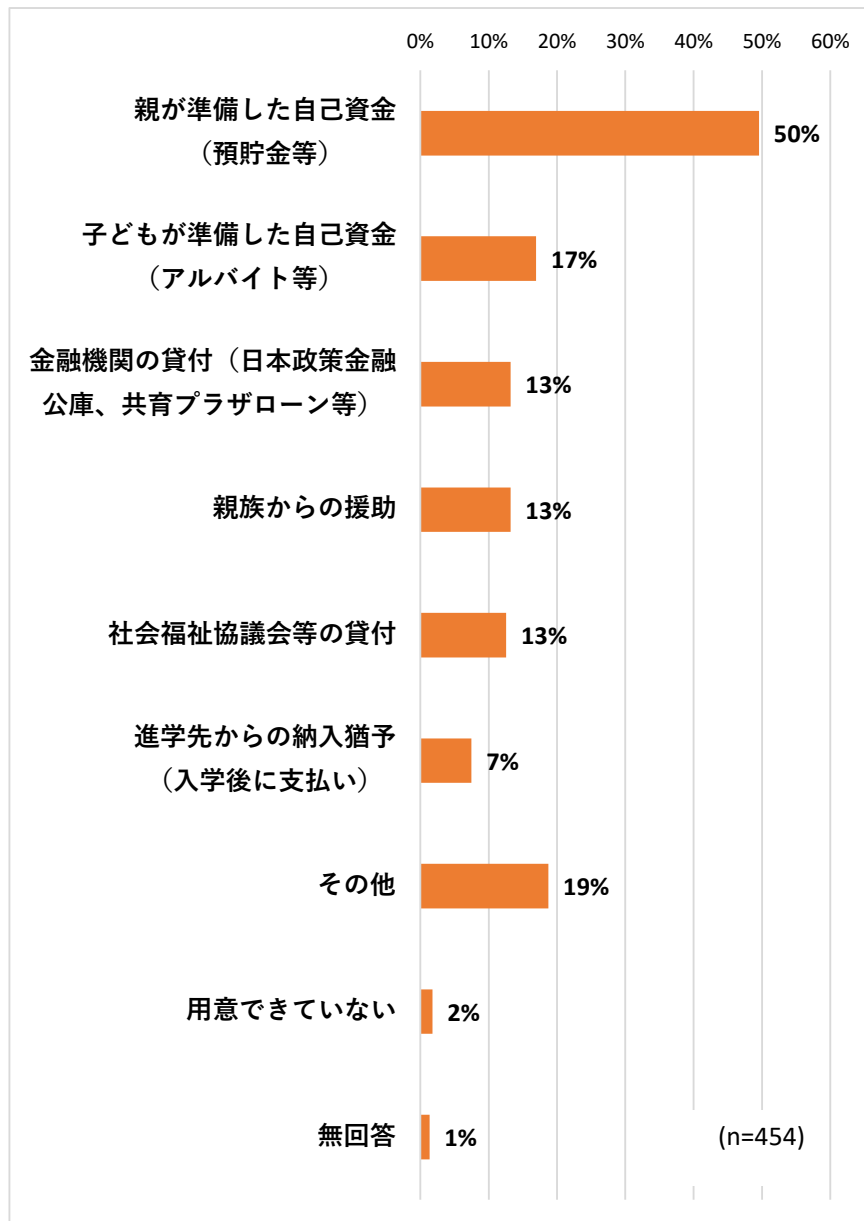


図 11 入学金の調達方法 (複数回答)⁴

⁴ 2023 年度の進路が「浪人」または「就職」である回答者を除いた者が対象。

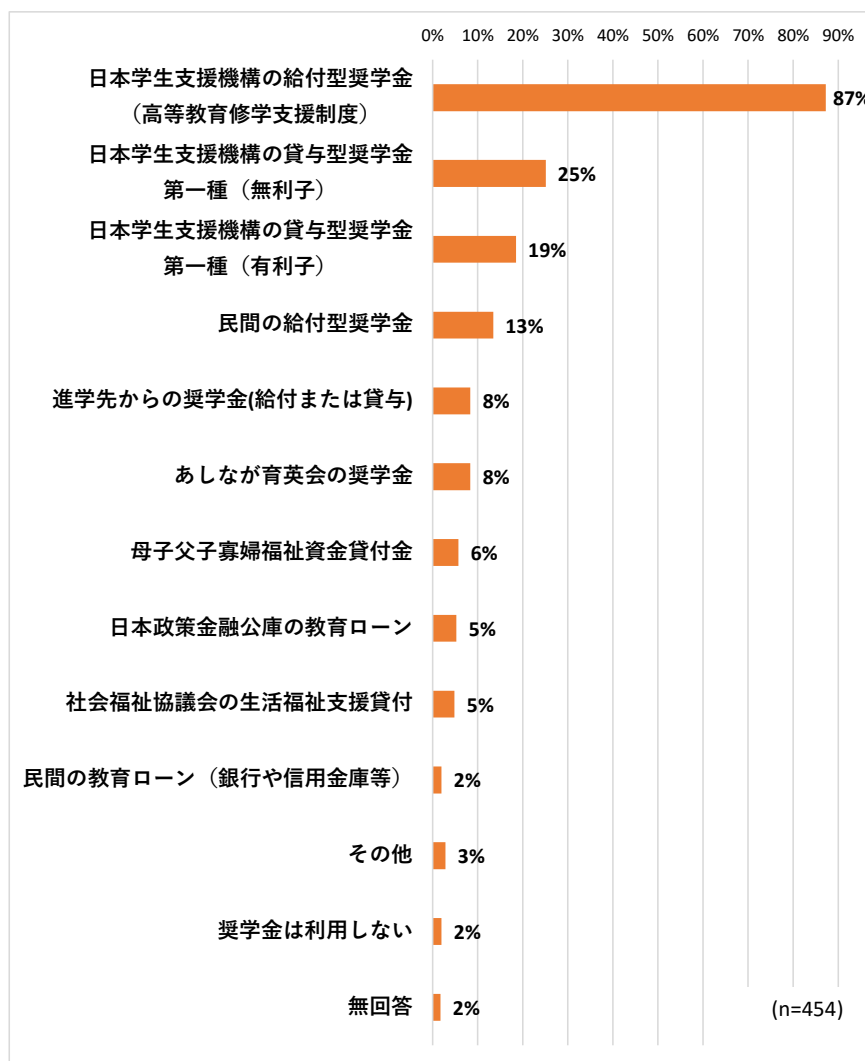


図 12 進学後に利用予定の奨学金 (複数回答)⁵

3.4 GS 奨学金の使い道

受給決定後すぐに給付される受験応援金 (5 万円) の使い道は、「受験料」(60%) が最も多く、「参考書、テキスト」(36%)、「塾・予備校」(21%)、「模試代 (英検・TOEIC など含む)」(17%) といった学習関連費用が続いている。

入学準備金 (10 万円) の使い道では、約半数が「入学金」(46%) を挙げている。「その他」(13%) の中には、大学で使用する PC の購入という回答が多く見られた。

GS 奨学金の他に受給した進学支援関連の給付金・奨学金としては、「高校生等奨学給付金 (高校学費無償化とは別、学費以外への公的給付金)」(29%) との回答が約 3 割、「その他民間の進学支援給付金・奨学金」が 15%であった。回答者の半数以上は GS 奨学金以外の給付金・奨学金も受給している。

⁵ 2023 年度の進路が「浪人」または「就職」である回答者を除いた者が対象。

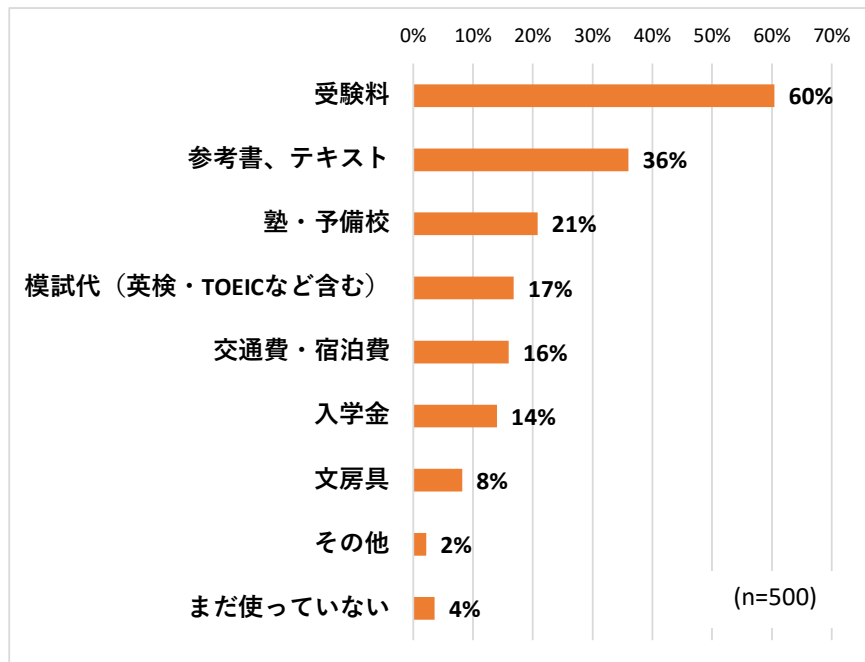


図 13 受験応援金（5万円）の使い道（複数回答）

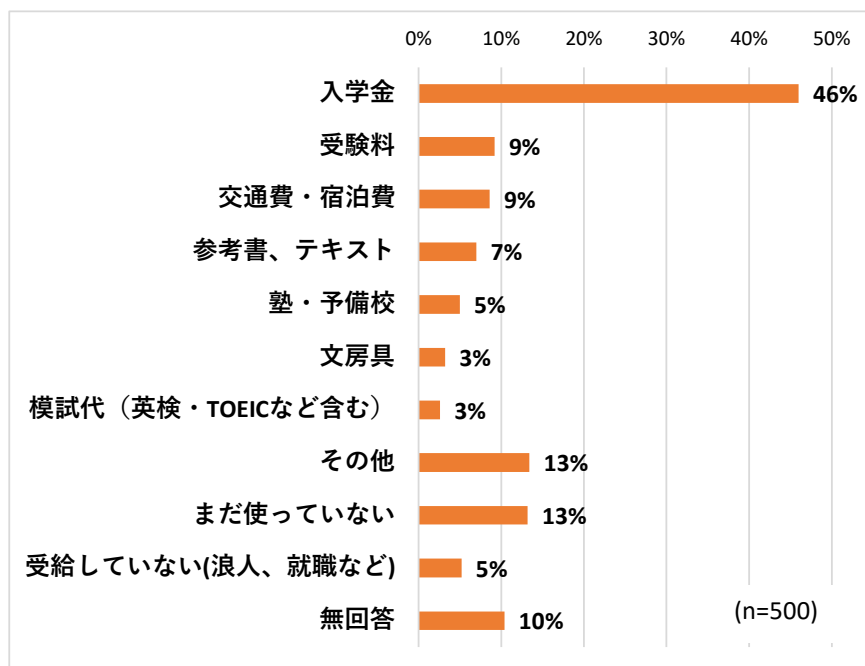


図 14 入学準備金（10万円）の使い道（複数回答）

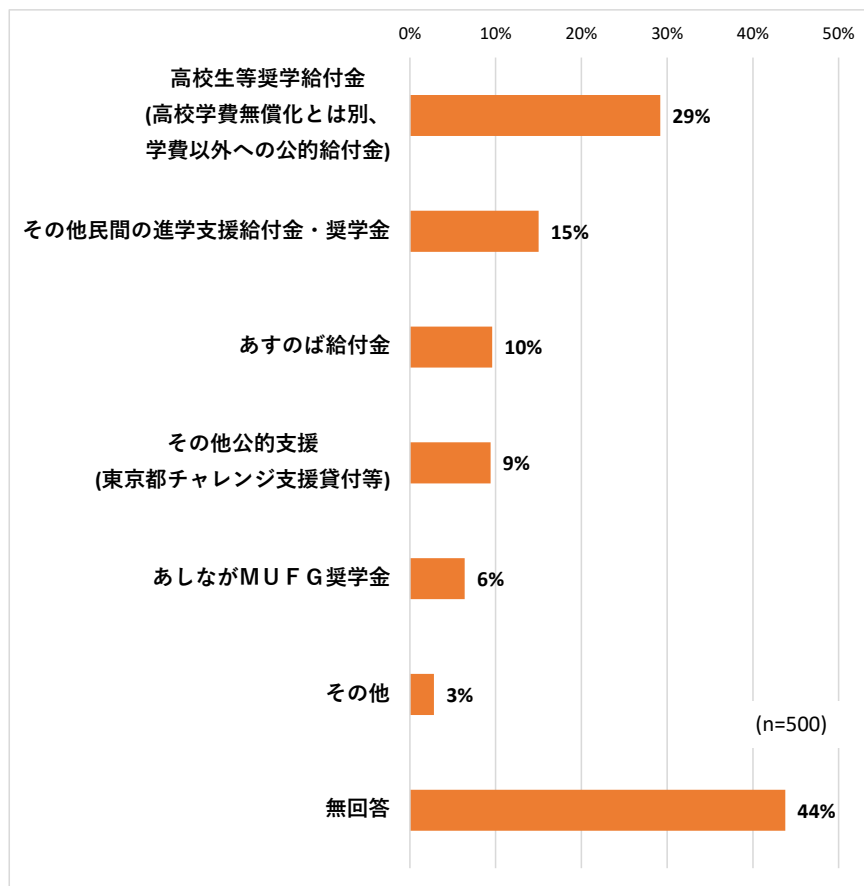


図 15 他に受給した進学支援関連の給付金・奨学金（複数回答）

3.5 進学に関して必要な支援

進学に関して必要な支援では、「受験料に対する免除、補助」(73%)が最も多く、「高校生への児童手当の支給」(63%)、「奨学金支給時期の早期化」(56%)、「塾・予備校費用に対する補助」(52%)、「共通テストの無償化」(50%)が続いている。

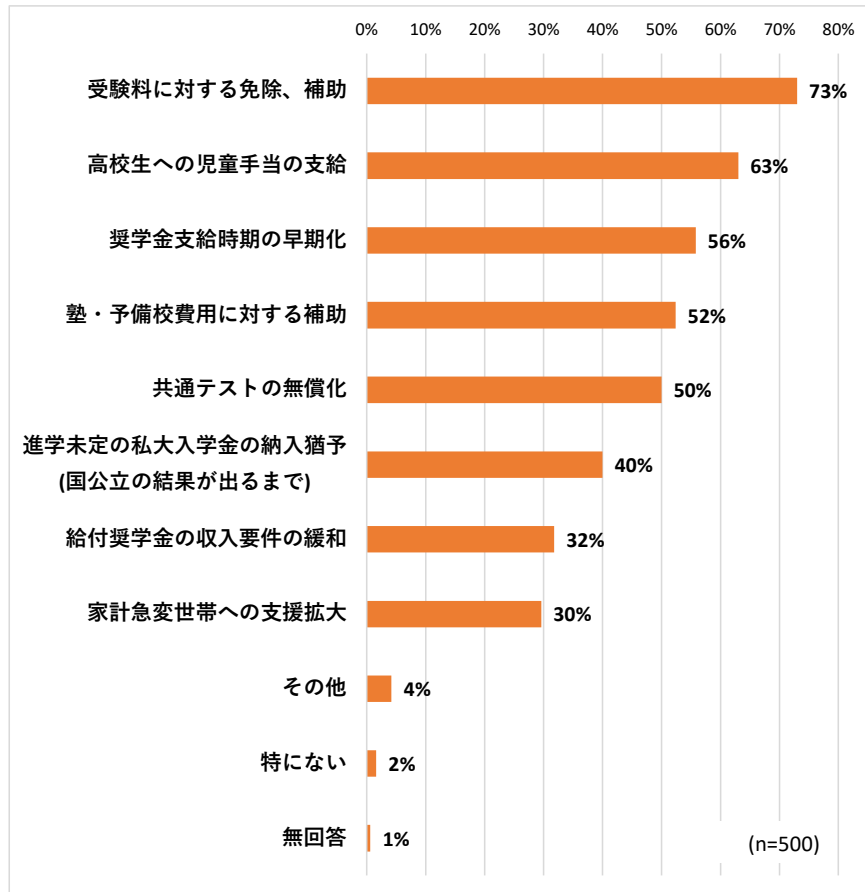


図 16 進学に関して必要な支援 (複数回答)

3.6 奨学金受給や子どもの受験が保護者自身や家庭に与えた影響

「子どもが奨学金をもらったことで、困ったときに人に相談しようと思うようになったか」という質問に対しては、「いつもそう思う」が32%、「ときどきそう思う」が50%であり、8割超の回答者が困ったときに人に相談しようと思うようになったという結果が得られた。

「子どもが受験をしたことで前向きな気持ちになったか」については、「とてもそう思う」(65%)が6割を超え、「まあそう思う」(30%)と合わせると、全体の95%が子どもの受験によって前向きな気持ちになったと回答している。「子どもが受験をしたことで、不安を感じたり気持ちが落ち込むことは減ったか」では、「とてもそう思う」が26%、「まあそう思う」が39%となっている。「子どもが受験をしたことで、自身や家庭にいい影響があったか」との質問には、約半数が「とてもそう思う」(51%)と回答した。「まあそう思う」(38%)も合わせると全体の約9割であり、多くの保護者が子どもの受験によって何らかのよい影響があったと感じていることが明らかとなった。

子どもが受験してよかったと思った場面や内容としては、子どもが将来の夢に近づける、将来の選択肢が広がるという回答が多く寄せられた。子どもが自信を持てるようになった、成長したといった回答も

目立った。不合格を経験したことも、子どもの成長にとって良い経験になるとした回答者もいる。受験という経験を通して、自らを支えてくれる人の存在に気づき、感謝の気持ちを持てるようになったことも多くの回答者が挙げている。さらに、子どもが目標に向かって努力することで、子ども自身だけでなく、保護者や兄弟にも好ましい影響があったとの回答も複数寄せられた。児童養護施設からは、進学する児童を目の当たりにすることで、他の児童も大学に行ける希望が持てるとの声があった。この他に、経済的に困窮する家庭でも進学ができることが分かり、将来に希望が持てるようになったという意見もあった。

受験をして子どもが変わったと思うことへの回答の多くは、受験してよかったと思った場面や内容と共通している。子どもの変化の中には、受験という経済的に負担の大きいイベントを通じて金銭感覚が身についた、お金について話し合うようになったとの回答もあった。また、人に頼ったり相談したりできるようになったとの回答も見られた。

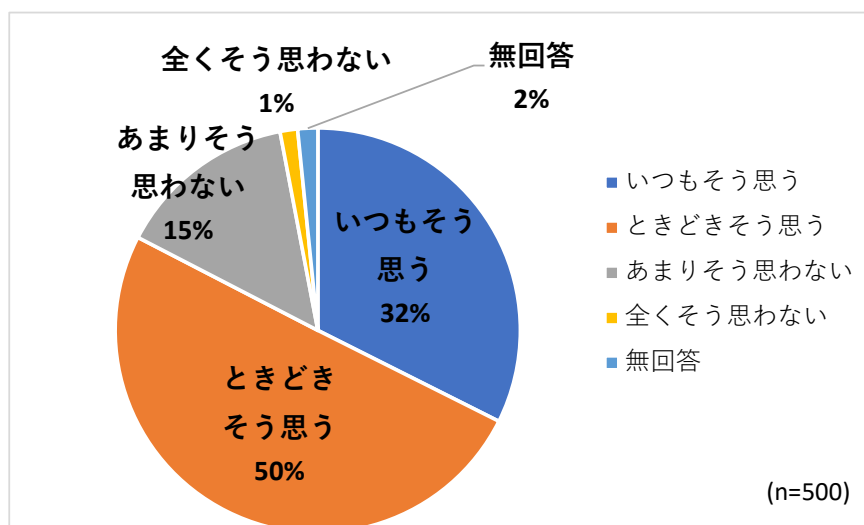


図 17 子どもが奨学金をもらったことで、困ったときに人に相談しようと思うようになったか

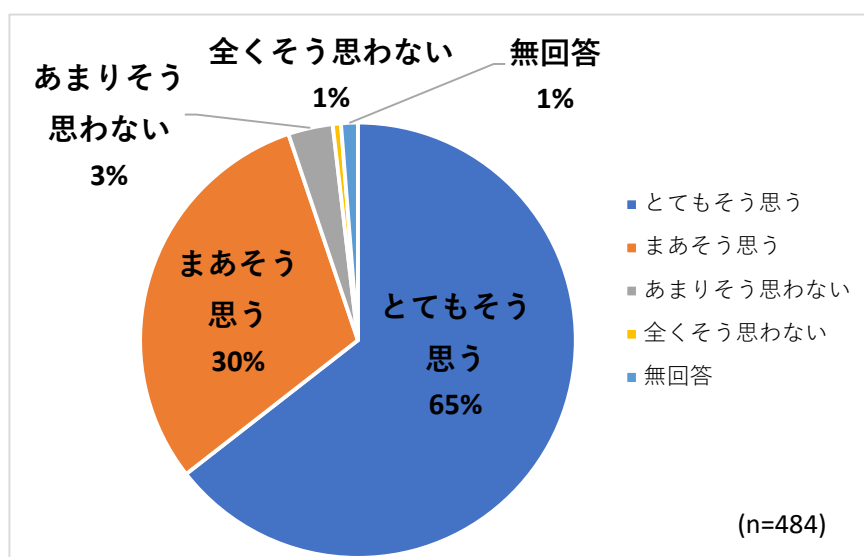


図 18 子どもが受験をしたことで前向きな気持ちになったか⁶

⁶ 子どもが受験をした回答者が対象。

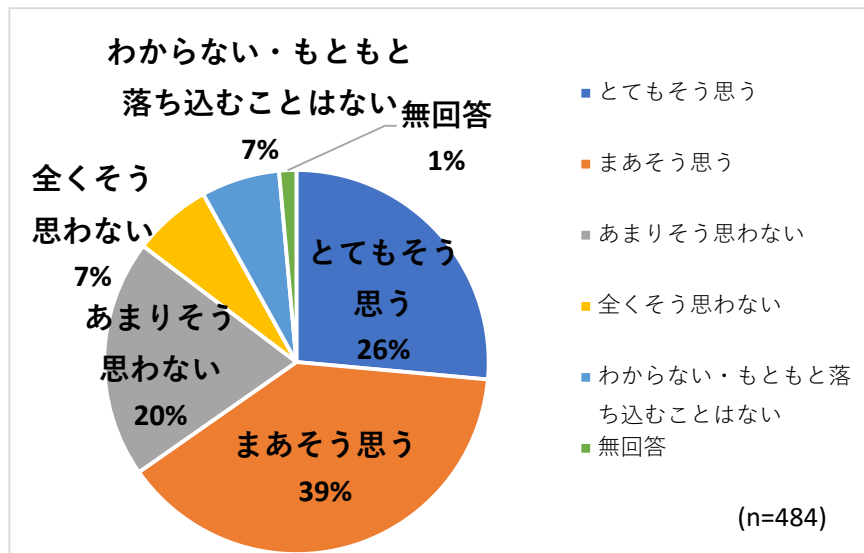


図 19 子どもが受験をしたことで、不安を感じたり気持ちが落ち込むことは減ったか⁷

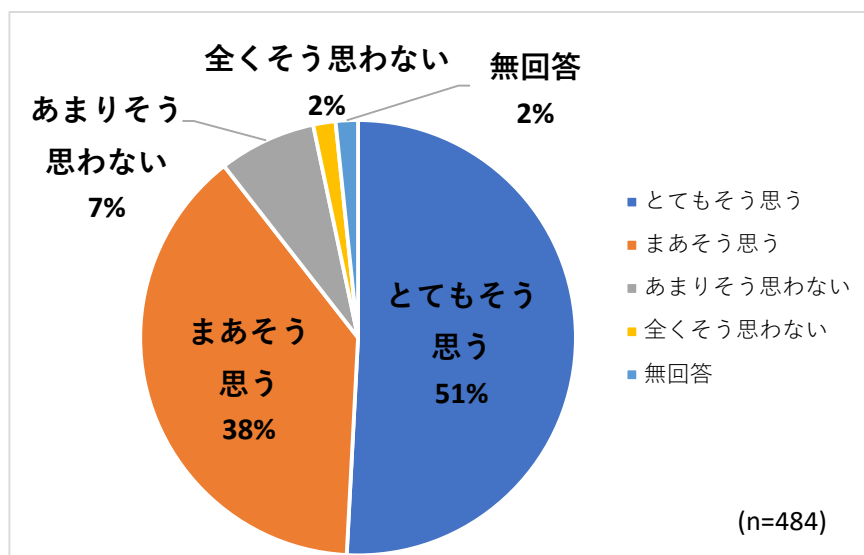


図 20 子どもが受験をしたことで、自身や家庭により影響があったか⁸

表 1 子どもが受験してよかったと思った場面や内容
(自由回答、一部抜粋・引用者にて編集)

➤ 将来の夢に近づくことができた

- 看護師になりたい、大学に行きたいと頑張っていました。「行きたい大学に行けて嬉しい」と希望に溢れ、学べることをとても楽しみにしています。親として、とても嬉しく幸せです。ご支援に心より感謝申し上げます。
- お金がないので就職という選択肢しか本人の中には、ありませんでした。保育士を目指すという夢も諦め、特にやりたいことがなく自己肯定感も低いため、自分は工場で就職すると言っていました。ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金を受けることができたことにより、自分も夢に向かうことができるんだ！という前向きな気持ちに変わったように思えます。

⁷ 子どもが受験をした回答者が対象。

⁸ 子どもが受験をした回答者が対象。

- 希望した大学に合格したことで、将来、建築士になりたいという夢の実現に向かっていているという喜びがあったこと。
- 子供は現役時には志望していた学部を不合格になってしまいましたが、1浪して勉強に励み、地元の国立大学医学部医学科に合格をいただきました。今まで家庭の経済的状况で、子どもには様々なことをあきらめさせてしまいましたが、志望していた医学部医学科に合格できたことで、人生までは諦めずに済みました。温かいご支援に心より感謝申し上げます。
- 経済的な理由で諦める事がなくなり、自分の目標する職業に向けての受験が前向きに受験できたのでとてもよかったと思います。生き生きとしています。

➤ 将来の選択肢が広がった

- 将来の良い職場への就職を見据えて、大学への進学はとても素晴らしいと思いました。
- 将来やりたい仕事の幅が広がったと思う。
- 人生が開けたこと、可能性が広がったこと。
- 以前は高校卒業後は就職かなと思っていましたが、大学受験、合格して、こどもの世界を広げてあげられるかなと思いました。大学でたくさんの知識を持った方々と関わり、自分の世界を広げてほしいと思っています。
- うちを私を含め上の子も親も大学進学した者が誰もいません。貧困と低学歴連鎖です。今回も少し諦めていましたが受験することが出来、無事合格することが出来、初めて大学進学させる事が出来、心から良かったと思っています。新たな道に向かって進んで行って貰えたら…と切に願っています。

➤ 子どもが自信を持てるようになった

- 2大学を受験しましたが、第一志望の大学が不合格で涙を流し悔しい思いをした事や、第二志望の大学に合格した時の喜びの瞬間を体験できたこと。また、遠方からひとりで受験をしたことや、一般受験で合格したことが自分の自信になったのではないかと思います。
- ひとり親家庭ということで一時は就職を考えていたようですが、やはり夢をあきらめたくない！ということで高校では野球も学業も頑張り推薦で合格することができました。努力は報われるということが息子の自信になったようです。大学でもその気持ちを忘れず頑張してほしいです。
- 自身でよく考えて受験をすすめた結果、希望の大学に合格できたことで自己実現を達成し、自信と夢に満ちている様子を感ずるので。
- 努力することの大切さを実感して、成功体験を得たことによって自分に自信がついた様に思えます。以前より物事に積極的にチャレンジしようとしています。

➤ 子どもが成長することができた

- 家庭環境、家計を気にせず、目標を持って自発的に計画を立てて進む姿が見られたこと。成長を感じました。
- 子どもが、自分自身の将来について真剣に考え、進路を選ぶ力を得た事が、良かったと思います。
- 自分で考えて行動できるようになったことです。受験勉強の計画を立てたり、受験日程の調整や受験料の振込をしたりと自分で管理することが多かったので、前よりも自分で考えられるようになったと思います。
- 周りの子が私大推薦などで合格している中、国立大をねらう娘は苦しみながらも最後までやり通しました。辛い中、最後までやり通す粘り強いチカラがついたと思います。

- 努力をしたり悩んだり、自分と向き合う期間だったと思う。大きな成長に繋がった。
- 中学生の時に起立性調節障害になった息子は、夢も希望もなく落ち込む日々を過ごしていました。しかし、高校生になり将来の夢を持つようになり大学進学を志しましたが、母子家庭で生活保護のため進学は難しいと思っていました。でもこちらの奨学金に出会い、もしかしたら自分ももっと頑張れるかもしれないと意気込む息子の姿を見て、とても嬉しく思いました。初めての受験で分からないことが多かったと思いますが、志望動機などに一生懸命取り組んでいました。

➤ **失敗や挫折を経験し、強くなった**

- 一般受験でチャレンジしたことにより第一志望には残念ながら不合格でしたが受験の厳しさや学ぶ事の重要性、大学に入って何を目標に、将来何がやりたいのか等子ども自身真剣に考えるようになった事。
- 合格を勝ち取るのとは簡単なことではないことを知ることができた。考えが甘かったと思知らされた。こういうことを知れたのは受験したからだと思う。
- 子ども自身がチャレンジして、落ちた大学もあり、挫折を味わうことが出来た。これからの子どもの人生に挫折を経験した事が次に繋がると思うから。

➤ **支えてくれる人への感謝の気持ちを持つことができた**

- 今まで以上に勉強に対して意欲的取り組む様になった事や、支えてくださる方への感謝の気持ちを持つことができた様に思う。(先生方や友達など)心では思っていたのかもしれないが、言葉として言う事ができるようになったと思う。
- 受験を通して、自分自身で行動することや先を見据えた予定を考えられるようになったように感じます。また、職員へ不安を吐露する場面も増え、応援している大人が沢山いることを伝えられたと思います。
- 周りに対して感謝の言葉が、出るようになりました。
- 大きな目標に対して努力し結果が得られたことで、これからの人生に対して前向きに捉えることができると思います。また、受験を経験したことで、自分の知らないところで、多くの人に見守り支えられていたことを感じる事ができたのではないかと思います。
- 夢だった志望大学内で受験できたこと。目標に向かって頑張れたこと。奨学金を頂いて、沢山の方に応援していただいているという感謝の気持ちに気付くことができました。

➤ **保護者へのよい影響**

- 精神的に弱かった娘が前向きに動き出しているの親の私も応援しようと前向きになっているから。
- 自分で自分の道を切り開いて行こうとする姿はとても誇らしく、私自身も頑張らなければと、勇気をもらえました。
- 子供の自分の夢に向かって努力し、日々励む姿を見て親も勉強させられる事がたくさんあった。
- 子供の受験を機に、私も職場の昇格試験を受けてみました。結果は合格し、お給料も少しだけ上がりました。これからもっとお金が掛かることも増えていきますが、子供たちのために頑張ります！
- 子どものなりたい職業へ、一歩前進しました。皆様のお力添えにより夢を繋げられた事は幸せな事です。自分の力を社会に還元し、自立して生きていって欲しいと思います。私も一緒に夢を与えていただきました。合格時は二人でハイタッチをして「やったあ！」と喜びました。この様なかけがえのない思い出を味わい、受験という厳しくも特殊な時間を子どもと共有できた

事は幸せな事でした。

➤ **兄弟等の家族へのよい影響**

- 一生懸命勉強する長男をみて、他兄弟も夢をもって頑張るようになりました。
- 兄の姿を見て妹も大学進学を考えるようになった事。親のせいで大学を諦めなくても良い事が分かった事。
- 本人が目標を定め、その目標に向かって努力する姿は我が子ながら尊敬し、自分も頑張らないと思わされた。不登校の弟にも姉が頑張る姿、そして進学後も大学生活を楽しみにしている姿は良い影響を与えていると思う。
- 大学受験のエキスパートになったかのように受験について詳しいので、弟が三年後に大学受験を控えてるので、どういった勉強が必要か高校1年から弟は、取り組むことができるので、心強い。
- 私自身は、高校卒業後は就職するもんだと思ってたのですが、高3の春に「最初から大学行くためにテストも頑張ってた」と無口な息子の本心を初めて聞きました。確かに、3年間ずっと学年首位で、部活も頑張ってた。秘かに有言実行していた息子の頑張りを知ると、応援するしかありませんでした。父を亡くした私たち家族の目標でもあり、夢でもある長男の大学進学は、希望です。長男を中心に弟妹と母である私は、これからも力を合わせて、大変だけども乗りきろう、と家族の団結を誓いました。
- コロナ禍と病気で元気がなかった祖父母が喜んでくれたことです
- 児童養護施設から大学に行ける希望が持てる。進学する児童を目の当たりにすることで、他の児童も希望が持てる。

➤ **困窮家庭でも進学できると思えた**

- 奨学金をいただいたことがきっかけで、ひとり親だと大学は無理だという固定観念がうすれ、大学生活に希望を持てる形で受験することができました。各種奨学金という制度を知り、将来に希望を持てるようになりました。
- 生活状況が苦しくても、国や民間、財団等がチャレンジすることで支援をしていただけると身を持って実感できたことです。子供にとっても諦めずにチャレンジする前向きな気持ちを更に持てたと思います。
- 低所得層という事で大学進学を諦める事もあったと思うが様々な支援を知ることで進学の夢が叶い子供の夢を経済的理由で失う事がなかったのは良かったと思う。
- 貧困世帯の我が家でも、同級生の友達と同じように、我慢せず、大学に進学できるのではないか、受験ができるのではないか、との安心感と未来への希望がわいたのではないかと思います。

➤ **その他**

- 両親ともに高卒なので『大学』とは何しに行くところなのか？と言う思いがありましたが、一緒に大学の説明会や場所を確認したり、学部選び等を通して将来について色々考える事ができて私自身が楽しみながら大学選びをしました。その中で子供の『やりたいこと』に少しでも寄り添えて良かったです。好きなスポーツをしたい為に、今回選んだ大学に進学を決め、親元から離れ、一人で生活していく大変さを知って、これから先の人生に活かしてほしいと思っております。
- 将来への夢に近づけた。しかし不安の方が大きい。下宿になりこの先の生活費が不安であり、別居になるがかなり無理がある。貸与の奨学金も返済額に不安がある、就職の方がよかったのではとも思う。

- 正直うちは4姉妹で、父親も病気で障害があり、働いていないので、お金がないので大学進学に反対でした。第一志望の大学に1回だけ受けて、ダメなら専門学校と約束していたので、合格して本人はとても喜んでいました。その姿を見て、私も嬉しくなりましたが、今後のお金の事を考えると憂鬱です。

表2 受験をして子どもが変わったと思うこと
(自由回答、一部抜粋・引用者にて編集)

➤ **自分の将来を明確に考えられるようになったこと**

- 明確な目標ができたと思う。大学卒業後の進路もやりたい事がハッキリとした。
- 将来のことを良く考えるようになりました。大学入学までに、アルバイトをして、働くことを経験してみたい。入学後は色々なことを学んでみたい。卒業後の就職についてなど、思ったことを、よく話してくれます。
- 受験する大学・学部を決めていく過程で自分が大学でどんな勉強をして将来どんな分野の仕事に就きたいのかを具体的に考えるようになりました。また、勉強でわからない問題等を積極的に先生や友達に聞いたりできるようになったと思います。
- 受験に際して色々と先輩方の経験談や講義などを聞いて回ったので、自分が将来就きたい仕事により明確になったこと。奨学金や大学のシステム等、お金や社会の仕組みも少しわかるようになった。
- 受験を決める前までは、自分には将来がない、夢もない、生きていても仕方ない、などと悲観的になる事が多かったのですが、受験が出来るようになってからは、とても前向きになり、将来になりたい職業や取りたい資格などが明確になっていきました。
- より、自分の人生をどう生きたいかという、ビジョンが描けるようになった。

➤ **自信がついたこと、成長したこと**

- 受験を乗り越えたことで自己肯定感が上がった。
- 気持ちや状況を正直に話せるようになった。自信が持てるようになった。
- 母子家庭の非課税世帯でも、肩身の狭い思いをすることなく、将来自分の力で社会的地位を築くことが出来る自信に繋がったと思う。
- 未来はいつも不確定ではあるものの、一つでもこれから進む道を自力で見つけたからか自信のある話し方をするようになったと我が子ながらに感じます。シングル家庭の私はあまり子に手をかけられなかったのですが、こんなに自力で探してくる生徒はなかなかいないと先生にも褒めて頂けました。
- 受験をきっかけに子ども自身が自分の人生について考えることが出来、これから先進む道がひとつだけではなく沢山あるということを知り、より大人になったと感じます。
- 以前は、何かを決める時にも、親や友人に合わせようとするところがありましたが、今回の受験をきっかけに、自身の気持ちとしっかり向き合い、決断できるようになりました。
- 自らの進路を自ら選択し自ら行動する姿が数多くみられました。引きこもりだった状況から大きく成長したと思います。
- 自分で大学や交通手段等を調べ、自分で県外の大学まで一人で行った。それ以外でも活動範囲が広がり、自主的な行動がよく見られるようになった。
- 何校も落ちながらも、いつもだったら投げ出していたかも知れない位に、不安定でした。しかし、最後まで悩みなながらも諦めず受験をしたこと、落ち着いて将来のことを考えたことに、成長を感じました。
- 学校での活動も積極的に取り組むようになりました。芸術系の高校に通っていたのですが、4つ

の学科が協力して卒業式でのサプライズパフォーマンスを披露してくれました。担任の先生にも内緒で、こっそり進めていたようで、とても感動しました。その実行委員を娘が担当していたという事に、私がびっくりすると共に、娘の成長を感じて嬉しく思いました。

- どんなに辛い時でも、諦めずに自分の将来のための道を頑張って自ら切り開いていくことの大切さを学んだと思う。
- 苦手な事にも前向きに頑張れるようになったこと。
- 悔いのないように努力する姿勢がついたと思う。
- 客観的に自分の能力を見られるようになった。
- 自己管理能力や集中して作業する能力を身に付けられた。
- 人間的にずいぶん成長し、しっかりしてきました。家事やアルバイト先での行動など身の回りのことも自分で考えて行うことも多くなり、自分のことだけでなく、周りを見て行動判断するという力も身につけて来ていると思います。
- 人前で話すことが苦手なようでしたが、面接の練習を繰り返すことで緊張しながらも話せるようになっており変化を感じました。
- 合格後は一人暮らしにむけて家事等を手伝うようになり大学生活に向けて自らしっかりと準備している姿が見られるようになった。
- ひとり暮らしをすることになったので、精神的にだいぶ大人になったように見えます。

➤ 失敗や挫折を経験し、強くなったこと

- 行ける大学ではなく、行きたい大学に挑戦し、結果浪人する事になりましたが、ブレずに自分で自分の人生を切り開いて行こうとする強い意志を感じました。
- 高校受験時に志望校合格し挫折を味わなかったせい、今回の大学受験も合格できるのではないかという根拠の無い自信と甘えがあった。しかし志望大学を受験する機会を得て結果、不合格となり現実を知ったが冷静に自分を見つめ直し、自力で来年に備える準備をすることができたようで子どもの精神的な自立を感じました。
- 今の自分の実力を全て出し切って悔いはないと清々しい表情で言える事が、凄いと思った。第一希望の大学には合格出来なかったけれど、それも受け止めて合格した大学に気持ちを切り替え新たな目標を立てる姿は頼もしく見えた。
- 失敗しても、次へ進もうとする気持ちが出たと思う。

➤ 支えてくれた人への感謝の気持ちを持つことができた

- 私にお礼を言ってくれたり、受験が終わってからはご飯を何度か作ってくれたりして、感謝を伝えてくれたこと。
- 将来へのビジョンを見据える事が出来るようになり、母子家庭で育った事で、色々な人に支えられて生きてる事に気付き、自分も支える人になりたいと思えた事です。
- ひとり親家庭ですので沢山の方々にお世話になり、自分を大切にしてくれた方々へこれからどうやって恩返しをしようかと考える様になりました。大学での勉強を通じて、世の中の困っている方へのサポートや手助けが出来る様になりたいと考えている様です。
- 受験勉強を経てすごく心持ちが変わり、周りの人に前よりも感謝するようになったと思います。国立の合格発表があり、合格の2文字を見て娘は周りへの感謝を口にしていました。受験という人生における一大イベントを経験して、身近にいる娘を支えてくれている人の存在に気がついたからだと思います。

➤ お金について考えるようになった

- お金について話し合うようになり、家計のことを考えてくれるようになりました。
- バイトを始めた事により、経済的な事を考えてくれるようになった。
- 私がお金を気にしているのでバイトを始めた。
- 塾代捻出のためアルバイトをしたり、奨学金について積極的に調べたり、進学後の生活費を試算したり、金銭感覚が身についたと感じます。

➤ その他

- SOS や質問を言えるようになった。
- 退所後のイメージをより細かく持つことが出来、自立に向けて前向きな気持ちを持つ機会となった。また、人に頼ることを知り、相談をすることを身に付けることが出来る機会となった。
- 自分と向き合う時間が増えたように感じます。A0 受験を選択し、自分自身の強みや、将来の夢をかなえる為に必要なこと、それにかかる費用など。言葉にしたり、文章にまとめたり等。頑張っておりまして。
- 勉強は第一にがんばっていて、気分転換として、下の兄弟と遊んでくれたり、家の手伝いをしてくれたり、家族が仲良くなれた。
- 浪人して頑張っている友達を見て、(自らのことはさておき、)人間性を磨くのに浪人は悪いことでは無いと感じたようです。現役のときもそうでしたが、目標に向かって頑張ろうとする仲間たちが周りにいて、学校生活が不登校になるくらい嫌だったのに、仲間と頑張れたことで良い思い出になったようです。

3.7 ゴールドマン・サックスへのメッセージ

支援企業のゴールドマン・サックスへのメッセージでは、GS 奨学金のおかげで受験や進学ができたことへの感謝の気持ちが多く寄せられた。感謝のメッセージとともに、受験応援や入学準備等の早い時期に奨学金を受け取れることが受験や進学のコストを確保する上で非常に有用だったとする回答、今後も支援を続けてほしいとの回答も目立つ結果となっている。

表 3 支援企業のゴールドマン・サックスへのメッセージ
(自由回答、一部抜粋・引用者にて編集)

- コロナの影響で収入が減る中、さまざまな給付などの支援をして頂いたため、息子の希望の進学先に進学させられることができました。ありがとうございました。
- この度は、奨学金を頂きありがとうございました。本当に助かりました。5 万円は受験料に 10 万円はパソコンを買わせて頂きました。奨学金を頂くことが出来たので、大学も 2 校受けられましたし、パソコンも購入出来ました。
- この度は支援していただき誠にありがとうございました。コロナ禍や物価高騰の影響があり仕事もなくなりとても厳しい状況です。子どものために行動しても空回りして中々満足のないような環境にしてあげられない事が申し訳なくつらいです。子ども本人は気丈に振る舞い勉強したい気持ちが 1 番なはずなのにバイトしながら頑張ってくれていました。本当は大学進学したかったはずでしょうに専門学校へ変更したのも経済的理由が大半を占めていると思ひ責任を感じています。しかし今回支援いただかなかつたら専門学校への進学すら本人は諦めていたと思ひます。前向きな気持ちで進学を決められたのは後押ししていただけたからだ大変感謝しております。本当にありがとうございました。
- この度、我が子に 15 万円という大金を奨学金という形でいただきありがとうございます。大切

に使わせていただきました。お金の心配がないことで、安心して英検の試験を何度も挑戦することができ、無事、大学入学と英検合格を勝ち取りました。このことで、海外留学の夢を描き、大学生活が明るい希望になったことと思います。親は健康面や精神面はサポートができますが、金銭的にサポートして頂けると家計にも余裕ができて、大変助かりました。本当にありがとうございました。

- この度はご支援本当にありがとうございました。この支援を頂いたおかげでもう1校受験数を増やしてチャレンジさせてやる決断ができました。これから先の未来は支援してもら側から少しでも支援の力になれる側に回れるよう感謝とご恩を忘れないよう過ごしていきたいと思っています。
- チャンスを与えていただき、本当に感謝しております。今は入学準備の10万円を活用させていただき、入学式のスーツや眼鏡、パソコンの購入をして楽しそうに過ごしております。本当にありがとうございました。
- この度は、息子を奨学生として選んでいただき、ありがとうございました。母子家庭で収入が少なく、なかなか満足にお金をかけることをしてあげられない事を申し訳ないと思っていました。今回も予備校などには行かせてあげられませんでした。支援を受けることが出来て、本当に助かりました。模試や共通テストの支払いに充てさせて頂き、また受験後は大学入学費用の一部に充てさせて頂きました。本当に感謝しかありません。ありがとうございました。
- 受験料や交通費、引っ越し費用など、ひとり親だとどうしても捻出するのが厳しいので、大変助かりました。本当にありがとうございました。
- ちょうど子供の受験準備の頃に、親である私が仕事でのストレスから体調不良となり、収入が途絶えてしまいました。本当に困った時にゴールドマン・サックス様の奨学金支援をいただき、本当に感謝しております。実際の受験活動への支援もさることながら、毎日の受験のための参考書や塾代など綱渡り状態で日々を過ごしていた自分達にポッと光が灯ったような、そんな温かい安心感もいただきました。本当に心の支えになりました。ありがとうございました！心から御礼申し上げます。
- コロナの中、様々なことに諦めと失望を感じていた私達親子に、温かいお手紙と進学の支援をして頂き、本当にありがとうございました。最後まで子供が頑張れたのも、途切れることのない応援メッセージや郵便物など、皆さまの支えがあったからだと思います。合格が決まり、子供自身も少しでも人の支えになれるよう、大学で勉強をして頑張りたい！と希望を話してくれました。これからもいろんな事を乗り越えながら、頑張っていきたいと思っています。ありがとうございました。
- 金銭面だけではなく、いつもちょうどいいタイミングで必要な受験に関する情報を教えて頂き本当に助かりました。合格グッズも応援していただいているんだと感じて、心強い気持ちになりました。一年間ありがとうございました。
- ととても的確で役立つアドバイスや奨学金で推薦入試を乗り越えることができました。社会貢献できる人間に育つよう頑張ります。
- ととても有難い支援だと思います。親も迷いどうなるか分からない中、誰かのサポートがある事で子供の背中を押す事が出来ました。2004年生まれは小学校入学直前に東日本大震災を経験し不安な学校生活でした。ようやく何でもない日々を過ごしていた最中、未曾有のコロナ禍へ…ですが第一希望に合格し、家族みんなが鬱々とした日常に明るさが戻ってきました。感謝の気持ちでいっぱいです。
- このような機会をいただき、大変ありがたいばかりです。おかげで余裕を持って準備をすることができました。小さい時から施設入所をしていると、貯金などを多めにできると思うが、そうでない児童は初期費用が準備できず、頭を抱えることとなります。どうにかして希望を叶え

る方法を考えますが、やはり経済的な面では心配は尽きません。ご支援ありがとうございます。児童共々感謝の気持ちでいっぱいです。

- 施設児童は保護者からの金銭的支援はなく退所後は自分で貯めたお金を持って一人で社会に出ていきます。お金がないと何もできない現実がある中、大学に行きたいという子どもの夢を応援していただきありがとうございます。社会全体で子どもたちが支えられていることを実感しました。
- 給付型の奨学金を受けられる予定ですが、それは入学後ですので地方から受験するとなると結構なお金がかかりそれでは遅いのです。入学前の色々な準備に活用させていただきます。本当に助かりました。ありがとうございます。
- 参考書代や塾代、受験料等受験期間にかかる費用も多い中で進学準備金として早期に支給してくださるとても助かりました。施設入所時は経済的な理由から進学を躊躇っていた本児でしたが、奨学金によって進学の夢を諦めることもなくなり、今では立派に将来の夢を語っています。本当にありがとうございます。
- ご支援、とても助かりました。出願が始まる前にお振込みをいただいたので、受験料に使うことができました。また、進学確定後のお振込みも対応が早くてありがたかったです。本当にありがとうございます。
- 他の団体より奨学金の支援範囲が広く、民間でここまで沢山の家庭を助けている団体はないと思います。ぜひ、続けて頂きたいです。
- この度は、大学受験のために支援金をいただきまして、ありがとうございました。ひとり親ということもあり、子どもも受験勉強にかかる費用や進学費用について、親に遠慮しているところがありましたが、支援金を受給できたことで、塾や検定試験を受ける事ができました。これからも、経済的な事情で、進学を躊躇する学生達のために、このような素晴らしい制度を続けていただきたいと思います。
- 子供達の未来を考えてくださり、支援をされている事に感謝しています。うちの子は今回経済的な理由で進学を諦め就職することになりましたが、親としては、子供の一つの可能性を潰してしまったのではないかと、胸が痛い思いです。経済的な理由で進学を諦める、そういう子供達が一人でも減るようになって欲しいと思います。こういった、支援をずっと続けて欲しいと願います。ありがとうございました。
- 温かいご支援のおかげで無事受験に成功し、親子共々感激しています。受験料の高さや、入学金の支払い期限など、国に改善して欲しい点がたくさんありました。貧困家庭でも安心して進学出来る社会になれば良いと思います。ご支援を無駄にする事のないよう、入学後も向上心を忘れず、社会に貢献出来る大人になって欲しいです。
- 金銭的に非常に厳しい環境の中、長女が希望大学進学をかなえることが出来ました。心から感謝申し上げます。物価高が余計に家計を圧迫する中、親の私は二の次で2食を1食に減らしても、娘と下の小一年生の息子に食べさせる、という日々でした。周りから「掛けるところが違うのでは?大学進学は贅沢」というような言葉すらかけられました。が、貧困の連鎖を断ち切るには、学を身につけることからスタートだと感じています。いま、目を輝かせて大学進学を楽しみにしている娘を受験期から応援していただき、本当にありがとうございました。きっとこのご厚意を社会に還元出来る、感謝を忘れない人に娘を育ててまいります。
- 子どもの父親が亡くなり、私も病で、娘はヤングケアラー状態だったので、支援は、自分たちは見捨てられていないという思いで嬉しかったです。おかげで乗り切る事が出来ました。いつか自分たちが支援する側になれるよう未来を向けました。ありがとうございました。

3.8 その他の意見・要望

その他の意見・要望では、GS 奨学金に限らず、奨学金による支援の拡充を求める声が多く寄せられた。また、奨学金制度があっても、まだまだ知らない家庭が多いのではないかと指摘する声も複数あった。進学後にも経済的に厳しい状況が続くため、進学後の授業料の支援等が必要との意見も目立ち、民間企業だけでなく、政府や国による対応が求められている。

GS 奨学金の支給のタイミングについては、早い対応を評価する意見とともに、一部不便を訴える声もあった。受給生伴走支援に対しても肯定的な意見が多いものの、LINE の情報配信が読みづらい、時間や場所等の都合でイベントに参加しづらいなど、改善を求める意見も見られた。

表 4 その他の意見・要望等
(自由回答、一部抜粋・引用者にて編集)

- | |
|---|
| <p>➤ 奨学金拡充の要望</p> <ul style="list-style-type: none">● こういう企業様からの奨学金がもっと増えたらと思いました。● このような支援が広がってほしい。進学に関し、格差の拡大を親子共々実感している。生まれた環境で進学の道を閉ざされることなく、希望すればどの子供も進学できるようになってほしい。● この奨学金は低所得者には、とても助かります。希望になります。ぜひ続けてほしいです。大学に行きたいけど家庭の事情で行けない子のために。● あしなが育英会のように成績に制限がない給付型奨学金があれば、勉強も得意不得意があり、頑張っても成績が上がらない子もいます。その子達も平等に、経済的に夢をあきらめなくていいように、専門学校や大学へ将来の夢に向けてチャンスを与えて頂きたいです。特に発達障害やアスペルガーなどの教育の分野にもどのような形がいいのかわかりませんが何か企画があればいいなと思います。● 我が子は海外での活動に関心を持っており、現在も学校を通して発展途上国での現地活動を行っています。海外留学等に対する奨学金支援が多くあれば有難いです。 <p>➤ 支援の認知度向上についての意見</p> <ul style="list-style-type: none">● まわりには同じような生活環境でこのような支援があることを知らない方がいました。子供の進路を諦めさせることのないよう広く認識されれば良いなとおもいます。● 偶然、ネット検索していて高校 2 年で出会えました。救いの手があることを見つけられず取り残されている方があるのかもと、考えます。● この制度がもっと知られ広まり、困っている家庭、子ども達が望んだ進路に行けるようになればなあと思います。● 私はインターネットでこの支援を知り、応募させていただきましたが、恐らくまだまだそのような支援を知ったり、知っても「悪いなあ」と思ったりして、なかなか気持ち的に応募まで決断できないご家庭もあるかと思っています。そのようなハードルが少しでも下がるように広報いただければ、もっと安心できるご家庭が増えるのではないかと思います。色々大変だと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。● 奨学金情報を流していただきたいです。申請方法など詳細が分かると助かります。 <p>➤ 進学後の支援を求める声</p> <ul style="list-style-type: none">● 支援は高校生までとなっていますが、大学生 2 人になる我が家はまだまだこれからも更に授業料に家計は圧迫されています。ダブルワークをしないと授業料が間に合いません。大学生に対 |
|---|

してもひとり親は更に厳しいです。なんとか生きています。子供が大学2人3人重なる家庭には授業料支援が欲しいです。

- 奨学金はとても助かりましたが、現実には不足が多く、進学してからも厳しい状況は続くので進学してからの支援もして頂けたらありがたいです。
- 生活保護なのですが、世帯分離されるので、可能であれば、大学生にも対象を広げて頂けると助かります。
- 大学に入学するとものすごくお金がかかります。今後もサポートいただけると大変うれしいです。
- 大学進学後にも、何らかの奨学金でご支援いただける機会があると嬉しいです。国立大学でも所得に応じて学費は発生し大きな額を親子で負担するため、ご検討くださると有り難いです。
- 大学入学後も高額な学費が掛かり、国の奨学金では不足分があり、民間の支援があれば助かります。

➤ 政府や社会全体への要望

- 金額が増えると助かるのですが、これは国に要望することと思っています。キッズドア基金さんにはこれからも受験生と保護者の不安な心をほぐしていただければと思っています。
- 受験料の捻出もなかなか厳しいですが、私学の入学金の支払いは、低所得層としては、受験の選択を極端に狭める事を実感いたしました。子どもは理系志望ですので、高額な準備品がございます。この制度は日本ならではと聞きます。是正していただきたく願っております。
- 政府がもっと支援してくれたらと切に願います。
- 1人親にとって、1人で稼ぎ1人で子育てをして、体がボロボロになっても、子供のために無理をして、なんとか毎日を、生き抜くために、必死です。子供が大きくなれば、なるほど出ていくお金も大きくなり、一生懸命働いても、給料は上がりず、苦しい思いながらも、子供がいるから頑張っている状況です。無理をしないといけない環境で、たまに自分が倒れたらどうしようと不安にかられることもあります。子供たちを1人親でも立派に育ててみせると自分を奮起させ、頑張っています。支援の輪が広がり、1人でも多くの1人親家庭のみなさんが笑顔で子育てできる社会を切に願います。

➤ GS 奨学金支給のタイミングへの意見・要望

- 早め早めの給付でとてもありがたかったです。たいへんお世話になりました。ありがとうございます。
- 総合選抜でしたが、受験前にただけて本当に助かりました。早い対応に感謝です。
- 10万円の支給時期を進学先の納付期限に合わせていただけたのは、助かりました。奨学金などはほとんどが入学後の支給なので、有難かったです。
- 息子の大学は12/16に合格発表で1/16が入学金納付期限でした。12月までは中旬前に合格証明書を送付し、下旬には振込のようでしたが、1月分は年末年始もあったからか、切が遅く振込もその分遅くなっていました。我が家の場合は振込期間の一番最後の日になってしまったので、月によってばらつきがある事に不便さを感じました。
- 進学後の支援などについても案内頂ければ嬉しいです。出願時に受験料、入学金など含めた学費を全て納入する形だった為、各学校、入試形態に合わせ、必要に応じて支援金を先に頂ければとても助かります。

➤ 受給生伴走支援への意見・要望

- LINEでの情報。ありがとうございました。大学進学への励みになったに違いありません。遠方

で会には参加出来ずだったけど、ためになるお話がたくさんあると言っていました。息子共々感謝しかありません。ありがとうございました。

- LINE でのご連絡や情報提供（子ども向けのもの）、ありがたかったです。ただ、LINE の文面が長くてみづらかったそうです。メールでも同じ内容を配信してもらえたらうれしいです。
- オンラインイベントで興味のある内容もあったのですが、時間の都合で参加できなかったのも、後から視聴できたり、内容やイベントで紹介されたためになる情報を LINE 等でおしえて頂けると助かるなと思いました。
- 支援開始してから、何度も頂いた応援グッズ、親子のモチベーションを上げる会話の糸口にもなり、本当に感謝しています。中でも頂いた、3色ボールペン（黒、赤、シャーペン）ですが、凄く使いやすくて娘のお気に入りの文具になったようです。大学に入っても続けて使えるものがあって嬉しいです。ありがとうございました。
- 時々送られてくるメールや文房具が嬉しい時がありました。地方住みなのでイベント事に参加はできませんが、リモートなどで参加出来たら良いなと思っていました。

以上

認定 NPO 法人キッズドア ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金 受給生アンケート 子ども編

2023年5月16日 認定NPO法人キッズドア

2022年度ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金の受給生を対象に、2023年4月以降の進路、受験や進学後の不安、受験期間を終えての自身の気持ち、奨学金や伴走支援についての感想等についてアンケート調査を実施した。調査及び結果について、以下のとおり報告する。

1. アンケート調査について（概要）

- 目的：困窮家庭の高校生の進路や進学における課題、奨学金や伴走支援の効果等を把握し、奨学金事業をはじめとする支援策の改善・充実につなげること。
- 対象：2022年度ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金の受給生
- 調査期間：2023年3月13日～4月2日
- 関連調査：2022年7月の受給決定時に一部設問を聴取
- 回答数：302件（回収率52%）

2. 調査結果まとめ

困窮家庭の子ども達は、大学進学後の学費・生活費の負担が大きいこと以前に、塾や模試を利用しづらい、家庭内で集中できる学習環境がない、大学の受験料が高額なため受験を断念または受験校を合格可能性の高い1校に絞る必要がある、等の不利な状況にある。一方で、大学受験前の支援を行う奨学金は、行政主体、民間主体ともに相当限定的である。ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金はそのような現状を受けて、受験期間と進学前の2回に分けて支援金を拠出すること、受験期間に文房具等の応援パックや学習支援・受験支援につながる情報及びメッセージを定期的に届けることで、大学受験に挑戦する子ども達の支援を行った。結果として、本奨学金が経済的・精神的な支えとなり、「夢をかなえることができた」「少し上のレベルの大学に挑戦できた」「悔いなく進学できる」との感謝の声が寄せられている。

なお今回の調査により、「大人になるのが楽しみ」「今の社会は公正だ」という前向きな気持ちが受給決定時と比較して減衰傾向にあることも明らかになった。受験・進学における経済的格差の影響を改めて実感し、将来に対する希望や、社会への信頼感が揺らいでいる状況が伺える。ただ本奨学金の支援を得られた子ども達は95%が受験をしてよかったと回答しており、苦勞して受験勉強を乗り越えたことに対して満足と感謝を感じている。

しかし進学前の奨学金が十分でない現状では、支援が得られず受験を断念した子ども達や、将来への前向きな気持ちを失ったままの子ども達も多数存在すると推察される。行政や社会に対してこのような状況を広く周知し、支援制度の拡充に努めることは急務である。同時に、多くの子ども達のチャレンジを支援し、将来の可能性を広げることに貢献した本奨学金に関しても、継続及び支援対象者数の拡大についてご検討いただきたい。

- 回答者の属性
 - 本奨学金への応募時点（2022年春）で4年生大学への進学を希望する者
 - 家庭の経済的な状況に関する本人の実感は、苦しいと感じている回答者が8割を占める。
- 受験状況及び今後の進路
 - 回答者の98%が受験をしている。23年4月以降の進路は4年制大学が約8割、短期大学（3年制含む）と専門学校がいずれも4%。浪人予定者は10%。
- 経済的苦境の進学への影響
 - 9割超が受験費用について保護者に気を遣っている。経済的理由により、52%が「受験する校数を減らした」、37%が「予備校・塾に通えなかった」、31%が「受験・進学を諦めようと思ったことがある」と回答。
 - 受験・進学を諦めようと思った理由として、約9割が「入学金や学費を用意できるか不安になった」、半数強が「受験料を用意できるか不安になった」を選択。
- 受験に必要な支援
 - 自らの受験期間に欲しかった支援は、金銭的な支援、受験のための環境・場所の確保、入学金支払いの期限延長に関する支援などが挙げられた。
 - 上記に関して以下のようなコメントが寄せられている。“受験料が高く交通費などもかかるので、受験料の補助があるといい”、“参考書や問題集を貸して欲しかった”、“入学金と前期受講料を合格発表後すぐに支払う必要があり、母親に借金してもらって支払った”
 - 今後実施して欲しい受験関連支援は、選択率が高い順に「受験料の免除」、「ひとり親家庭への支援」、「給付型奨学金の対象者拡大・増額」。
- 進学後の資金繰りに7割以上が不安を感じている
 - 7割以上が、進学後に学費が支払えずに退学してしまうのではないかと不安を抱えている。さらに、進学後に学費や生活費のためのアルバイト等で勉強が滞る可能性については、約9割が不安と回答。
- 受験期間を経て、現状や将来に対する前向きな気持ちが減衰傾向
 - 2022年7月の奨学金受給が決定した直後と比較して、「孤独だと感じるか」「大人になるのが楽しみか」等複数の質問に対して、前向きな回答の割合が減少している。
 - 「困っているとき周囲の大人や友人が助けてくれる」「勉強を頑張りたい」といった項目は高い肯定率を維持。
- 社会の公正さに対する信頼感も低下
 - 「今の社会は公正だ（正直な人や頑張っている人が報われる）」と思うかという問いに対し、7割以上が否定。2022年7月時点と比較しても前向きな回答の割合は10Pt低下している。
 - 生活の苦しさを実感している人ほど、今の社会を公正だと思わない割合が高い。
- 全体の95%が受験をしてよかったと回答
 - 「受験をしてよかったと思うか」という質問に対しては、約7割が「とてもそう思う」と回答した。「まあそう思う」と合わせると全体の95%が受験したことを肯定的に捉えている。
 - 受験をしてよかった理由としては、進学できる、将来の夢に近づく、支えてくれる人の存在に気づいた、など。
 - 上記に関して以下のようなコメントが寄せられている。“商学部に進学できることになり、ずっと学びたかった分野を沢山学べる”、“自分の夢を実現出来る道を切り開くことが出来た”、“私の将来に対する母のおもいや家計の状況など、話せる機会ができてよかった”
- ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金が経済的、精神的な支えとなっている

- 一人を除くほぼ全員が、ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金が受験の後押しになったと回答。応援パックに対しても9割超が満足している。
- 支援を行ったゴールドマン・サックス社へのメッセージとして、受験機会を増やすことができた、不安・負担感が減った、進学後に必要な支払いができた、今後は自分が社会の役に立ちたいなどが寄せられている。
- 上記に関して以下のようなコメントが寄せられている。“たくさんの学校は受けられないので、志望校は1つに絞ろうと思っていたのですが、少し上のレベルの学校にも挑戦することができました。おかげさまで悔いなく進学できます”、“頂けることになった時は進学時の親への負担が少しはなくなるだろうと嬉しかったです”、“後期の10万円は大学で必要となるパソコンの購入に充てさせて頂きました”、“頂いた十五万円のおかげで、入学金が無事支払えました”、“中学からずっと行きたかった大学に合格することができました。みなさんのように未来の子供たちが自分の夢を叶えられるようにサポートできる人になれるように頑張ります！”

3. アンケート結果概要

3.1 受験期間の経験と2023年4月以降の進路

本アンケートに回答した受給生の98%が大学等を受験している。2023年4月以降の進路としては、「大学」(79%)が約8割を占め、「短期大学・3年制大学」と「専門学校」はいずれも4%であった。「浪人」は10%となっている。

進学費用について保護者に気を遣ったかという質問に対しては、「はい」(93%)が9割超と圧倒的多数を占めた。経済的理由による進学への影響では、「受験する学校の数を減らした」(52%)が最も多く、約半数の回答者が選択している。次いで多いのは、「予備校・塾に通えなかった」(37%)・「受験・進学を諦めようと思ったことがある」(31%)でいずれも3割を超えている。受験・進学を諦めようと思った理由として最も多かったのは「入学金や学費を用意できるか不安になった」(87%)であり、「受験料を用意できるか不安になった」(55%)、「家計を助けるために就職した方がよいと感じた」(29%)が続く。

受験期間の悩みとしては、成績の伸び悩み、塾に行けないこと、受験や進学後の経済的不安、アルバイト・部活動との両立などが挙げられた。成績の伸び悩みに対しては、周りに質問する、気分転換をするなど、それぞれ工夫して乗り越えたことを伝える回答が寄せられた。塾に行けないことについても、不安や焦りを感じながらも、集中して勉強できる時間を確保する、無料の学習支援を利用する、自らの環境を受け入れて気持ちを切り替えるといった方法で乗り越えたとの回答が複数寄せられた。経済的不安に対しては、合格可能性が高い学校の選択や、奨学金の活用等の対応が挙げられた。受験期間に様々な悩みを抱える中で、保護者や先生、友人といった周囲との関わりが大きな助けになったことを伝える声も多い。保護者が自分を認めてくれた、学校の先生が相談に乗ってくれた、周囲の友人とともに頑張ることができたなど、支えてくれる人の存在が受験を乗り越えるために非常に重要だったことが伺える。

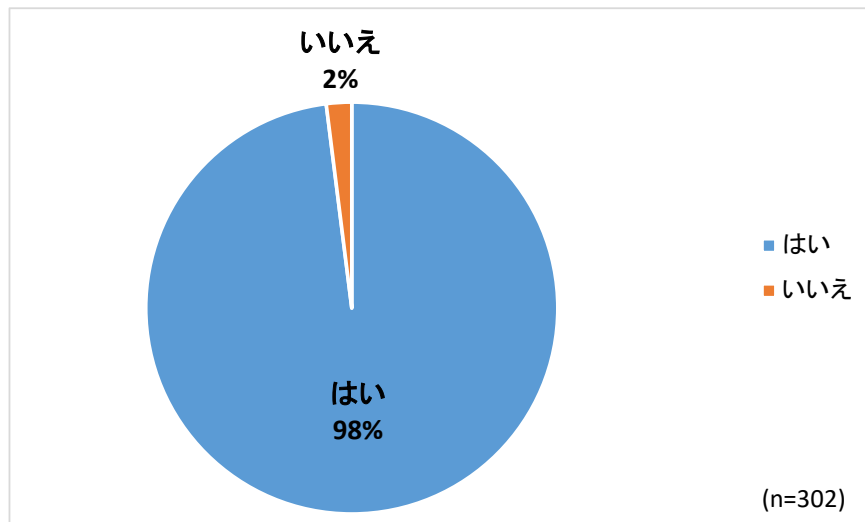


図 1 受験をしたかどうか

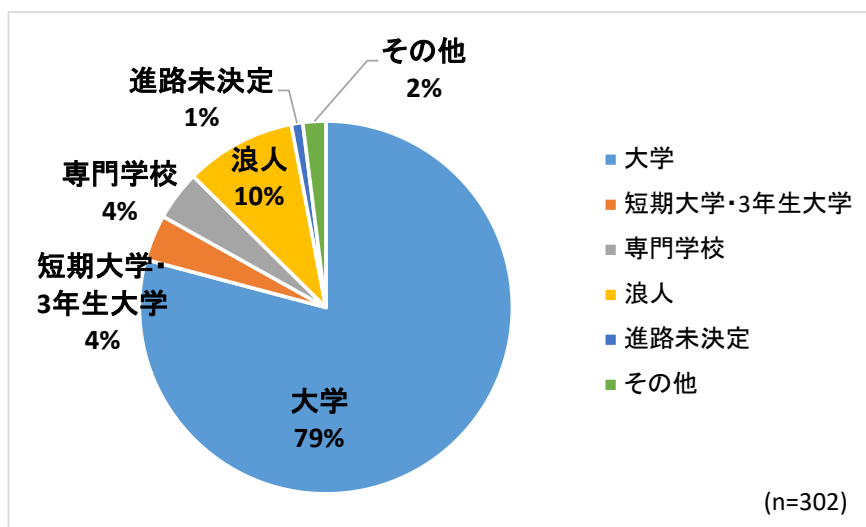


図 2 2023年4月以降の進路

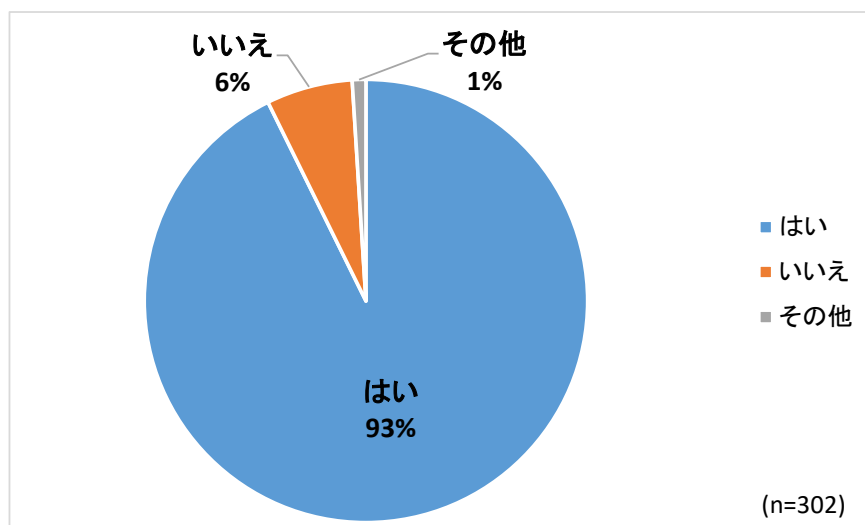


図 3 進学費用で保護者に気を遣ったか

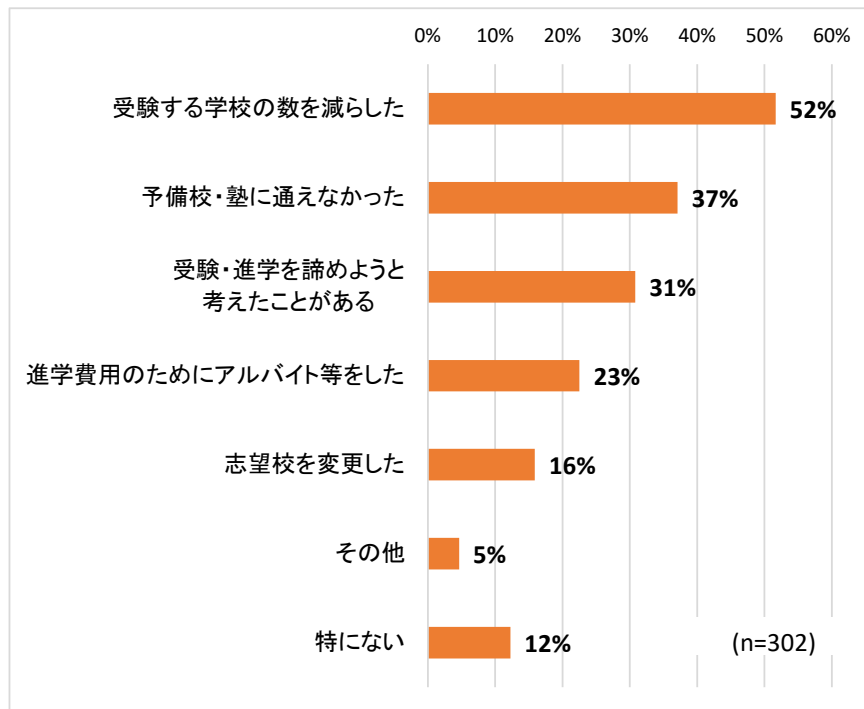


図 4 経済的理由による進学への影響（複数回答）

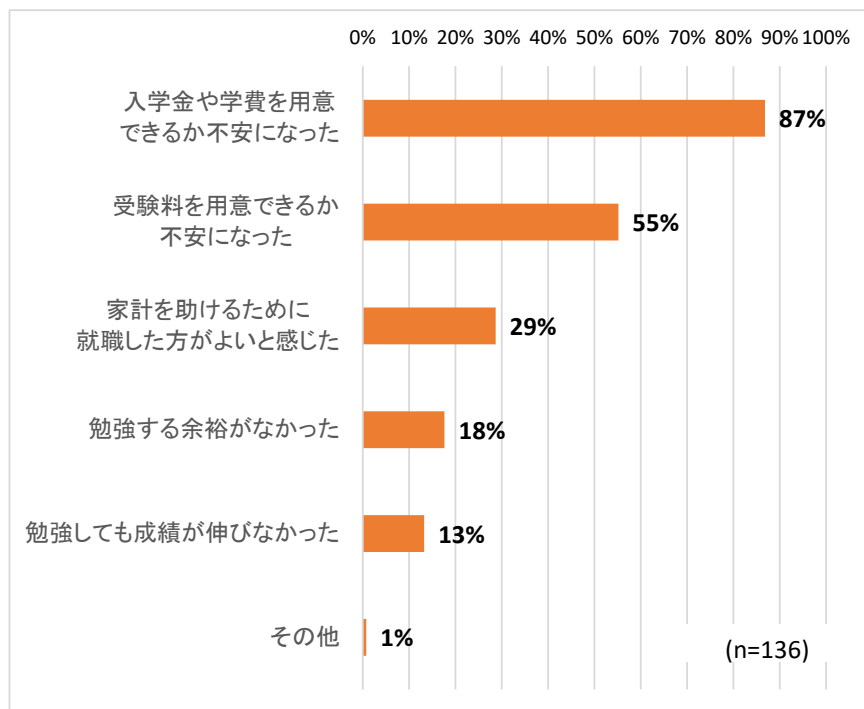


図 5 受験・進学を諦めようと思った理由（複数回答）¹

¹ 本質問項目に回答した回答者が対象。

表 1 受験期間の悩みや乗り越え方
(自由回答、一部抜粋・引用者にて編集)

➤ **成績の伸び悩みと対策**

- 英語の成績が伸び悩んだ。英語だけ塾に通った。
- 学力があまり伸びなかったが夜遅くまで勉強したり、周りに質問したりすることでなんとか乗り越えた。
- 思うように成績が伸びず、ストレスなどで体調が不安定な時がありました。でも、先生方や友達に助けられて、無事乗り切ることができました。また、時々体を動かすなど、好きなことをする時間を作りました。
- 成績が伸び悩んでつらかった時期もあったが医師になりたいという気持ちを一心に自分を信じて頑張った。
- 勉強が全く進まず困ったりしました。しかし、少し勉強から距離を取ることでまたいつもと同じように勉強することができました。

➤ **塾に行けないことによる不安と対策**

- 塾などには行けず自力の勉強だったので受かるのか心配になった。
- 塾に通わないことが不安になった、友人たちがみんな塾に行き始めた時かなり焦った。
- 受験勉強という学校以外の場でどれだけ勉強できるかが大事になってくる中で、周りの生徒と比べて勉強できる環境が全く違うことに経済的格差を感じました。それでも一人で受験勉強を頑張りました。
- 塾に通う経済的余裕が無かったので、毎日早めに登校したり、放課後や休日は図書館の自習室を利用して、集中して勉強できる時間を作りました。
- 塾に通えないことや参考書をあまり購入できないことが悩みでしたが、学校の教材や無料の学習支援制度を利用するなど自分にできることの中で取り組み乗り越えた。
- 塾に通えなかったので周りの受験生に置いていかれるような気がしてとても不安を感じていた。しかしそんなことを考える時間があるなら勉強しようと気持ちを切り替え、自分が置かれた環境を受け入れることによって乗り越えた。

➤ **経済的不安と対策**

- 看護学校の受験を考えた時に私立大学、私立の専門学校を受験校に考えることは金銭的な面で難しかった。
- 金銭的に私立の大学には通えないと考えていたため、国公立に一発合格しなくてはならないというストレスとプレッシャーに悩まされた。
- 受験費用がかかるので、多くの大学を受験できず、落ちたら後がない状況だった。
- 勉強をして、合格しても入学費が払えなかったらと思い、勉強に集中出来なかった。
- 入学後の授業料が払えるか心配になり、悩んだこと。
- 志望校の倍率が大変高く、また、浪人すれば家庭への負担が大きくなるので、経済面での不安と戦いながらの受験になりました。来年は、この不安を払拭して頑張りたいです。
- お金の都合で私立大学を受験できなかったのが公立大学に全力を注ぎました。
- 何校も受けるよりも指定校推薦で確実なところを選んだ。
- 国公立に合格しなかった場合の学費のことについて、志望校を確実な範囲とは言わないまでも現実的なラインまで下げることによって少し悩みを軽減させた。
- もし第一志望に落ちてしまうと貴重なお金を無駄にしてしまうのでそれを考えるとしんどかったが、自分が学びたい事が学べる大学で受かる可能性が高い大学を後期試験で見つけたこ

とで、最後まで少し余裕を持って望むことができた。

- 私立医学部は授業料が高額なので諦めようと思った時もあったが民間の財団の医学部奨学金の融資を受ける事ができ、合格後入学手続きが出来ました。
- 奨学金があることは、なんとかなるかもしれないという、希望の光になったことは間違いない。

➤ アルバイト・部活動との両立と対策

- アルバイトと勉強の両立が難しかった上、アルバイトの都合によりオープンキャンパスに行けないことが多々あった。合間を縫って参加することで今回合格をいただいた学校を見つけることができたので、やはり忙しくともオープンキャンパスには参加した方が良いのだと改めて思った。
- アルバイトを、たくさん入れていたのでなかなか受験の準備が出来なかったことは悩んでいました。多少強引に予定をいれることでハードスケジュールになったのが大変でした。体力や精神的にも辛い期間でした。
- 受験期にもアルバイトをせざるを得ない状況で、普通の生活をしている友人に嫉妬してしまったり、勉強の時間が減ったりして受験に集中することができませんでした。そこで担任の先生と相談し、今までの学生生活や今後の将来設計などを活かすことができる総合型入試に移行して、無事合格することができました。
- 勉強しながらバイトで学費・生活費を稼いでいたため、隙間時間を利用した勉強をした。また、社会的養護出身で同じような境遇の人が身近にいなかったので学校の先生と話してモチベーションを保った。
- 夏休みいっぱいまで部活漬けだったので、時間が足りなくて大変でした。
- 勉強は苦手な学科でも平均より下にならないように頑張りました。クラブ活動が12月まであったので両立することが少し大変でした。

➤ 保護者・先生・友人との関わり

- プレッシャーと不安で震えて眠れない夜があった。母が私のことを褒めて認めてくれ、自信を持たせてくれたので、少しずつ立て直せた。
- 学校の先生が相談に乗ってくれたので、最後まで部活と大会と勉強の両立ができた。
- 志望校がなかなか決まらなかった。信頼している先生にたくさん相談したり話を聞いてもらった。
- 面接の練習に苦労しました。先生や母に何度も練習に付き合ってもらい、乗り越えました。
- 一緒に勉強を頑張っているクラスメイトと過ごす事で乗り越えられた。
- 学校で友達と話すことで解消しました。1人では乗り越えることは難しかったけれど友達や先生方からサポートを受け乗り越えました。
- 周りの大人の方(学校の先生や施設の先生)からたくさん支援をいただきました。奨学金の作文に追われてもう辞めたいと思うことは何度もありました。でも周りの大人や友達がいたから頑張れました。
- 同じ境遇の友達と一緒に頑張ることで乗り越えた。
- 学習会のボランティアさんなどに相談したりした。

➤ その他

- 家が団地のため周りから生活音がして集中できないことがあった。そのため、地域の図書館や自習室を積極的に活用した。

- 家で長時間継続して勉強することがしんどかったので、息抜きも兼ねて図書館などで多くの時間を過ごした。
- 多くの問題集などを買う費用が無かったので、解き終わった問題集をフリマアプリで売ったお金で、フリマアプリで問題集を購入した。
- 模試の料金に関して保護者に遠慮する部分があり、いくつかの模試は諦めることになった。

3.2 受験に必要な支援

今後実施してほしい受験関連支援について最大 3 項目までの複数回答形式で質問した結果、最も多くの回答者が選んだのは「受験料の免除」(72%)であった。この他に、「ひとり親家庭への支援」(56%)、「給付型奨学金の対象者拡大・増額」(53%)も半数以上が選択している。

自らの受験期間にほしかった支援としては、金銭的な支援(受験料や模試・検定の費用、塾代、受験会場への交通費等)、受験のための環境・場所の確保(無料の塾や学習支援、受験や奨学金の情報、参考書、自習室等の学習場所)、入学金支払いの期限延長に関する項目などが挙げられた。

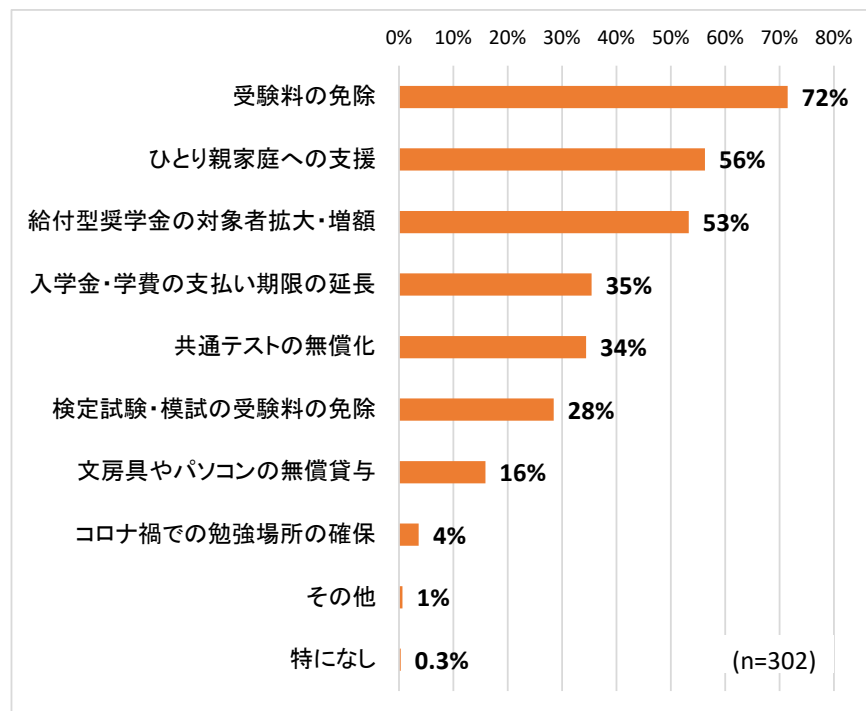


図 6 今後実施してほしい受験関連支援(最大3つまでの複数回答)

表 2 受験期間にほしかった支援
(自由回答、一部抜粋・引用者にて編集)

➤ 金銭的な支援

- 共通テストの受験費用
- 共通テストや模試、もっと言えば受験料など、受験する上で絶対にかかる費用というのは無償化してもらえると助かる。
- 私立大学などは特に受験料が高く滑り止めを受ける際にとっても親に申し訳ない気持ちになったので、受験費用の支援が欲しかったです。
- 受験料、センター試験料免除

- 受験料が高く交通費などもかかるので受験料の補助などあったらいいなと思います。
- 一人親家庭の塾費用減免措置
- 塾に通いたかったので塾の代金を助成してくれるとありがたいです。
- 塾の費用減額
- 模試の費用の支援
- 英検の受験料を補助して欲しい。
- 受験期はたくさんのお金がかかって親に申し訳なさを感じるが多々あったので受験校の交通費などを支援していただける奨学金などが欲しいとおもいました。
- 遠方から受験に来る学生に支援が欲しかったです。特に、沖縄は島国という事もあって、必ず飛行機に乗ってホテルに泊まらないといけないため、別の支援があると今後の後輩達が助かると思います。

➤ **受験のための環境・場所の確保**

- わからない問題を質問できる環境（普段は学校の先生等に聞いたり、サイト検索したりしていたが、休日等ですぐ聞けなかったり、サイトや参考書を調べてもわからなかったりした時があったので）。
- 学習塾等に連携を組んで 学習指導して欲しかった。
- 無償で勉強を教えてくれる場所の確保。
- 経済的な理由で、塾に行けない子の為に、オンラインや対面での支援があれば良かったと思います。
- 受験スケジュールの相談ができたなら良かったです。
- 小論文や面接対策の教室。
- 塾を利用していないと受験情報の入手が難しかった。模試の情報も不足していた。
- 大学入学後の給付型奨学金の募集の情報がもう少しあると選択肢が広がったかもしれない。
- シャーペンの芯や消しゴムなどの支給。
- 参考書、特に赤本や過去問の支給。
- 参考書や問題集を貸して欲しかった。
- パソコンや通信の確保など。
- 自習室など家以外で勉強出来る場所を増やして欲しかった。
- 東京以外にも、みんなで集まって勉強できる場所があるとよかったです。

➤ **その他**

- 入学金支払期間延長。
- 奨学金を早くもらいたかったです。入学金と前期受講料を合格後すぐに振り込みしなくてはいけなく、母親に借金をしてもらって、払ったので。
- 孤独だったので、同じように受験勉強に励む仲間たちの言葉などがあれば勇気づけられたと思う。

3.3 2023年4月以降の生活：同居者、進学後の不安、アルバイト

2023年4月以降の同居者では、「ひとり親と同居」（54%）が最も多く、「一人暮らし」は22%、「寮などで集団生活」は12%となっている。

進学後の経済的な面については、回答者の多くが不安を感じている。進学後に学費が支払えずに退学してしまうという点については約7割が不安と回答している（「とても不安」（25%）と「少し不安」（47%）

の合計)。さらに、進学後に学費や生活費のためのアルバイト等で勉強が滞るという点については約9割が不安と回答した（「とても不安」(36%)と「少し不安」(52%)の合計）。

進学後にアルバイトで得たい毎月の収入としては、「5～10万円未満」(41%)、「3～5万円未満」(31%)との回答が多い。学費や生活費などお金に困った場合の相談先では、「親や兄弟、親戚」(83%)が最多であり、「大学や専門学校の学生課・教員」(26%)、「友人」(18%)が続いている。「相談する人はいない・相談しない」との回答は7%であった。

現在抱えている悩みや困りごととしては、学費や生活費等の経済的不安を挙げる回答者が多い。授業料だけでなく、教材や通学、生活全般にかかる費用を確保できるかどうか大きな不安となっている。また、経済的不安に関連して、アルバイトと学業の両立、卒業後の奨学金返済を挙げる回答者もいる。この他には、一人暮らしや人間関係なども悩みとして挙げられている。人間関係では、周囲の友人との経済的格差を不安視する回答もあった。

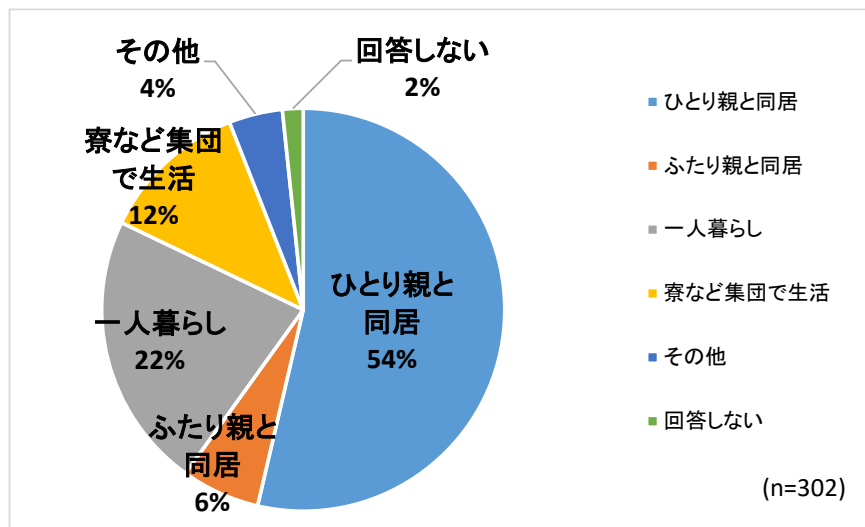


図 7 2023年4月以降の家庭の状況（同居者）

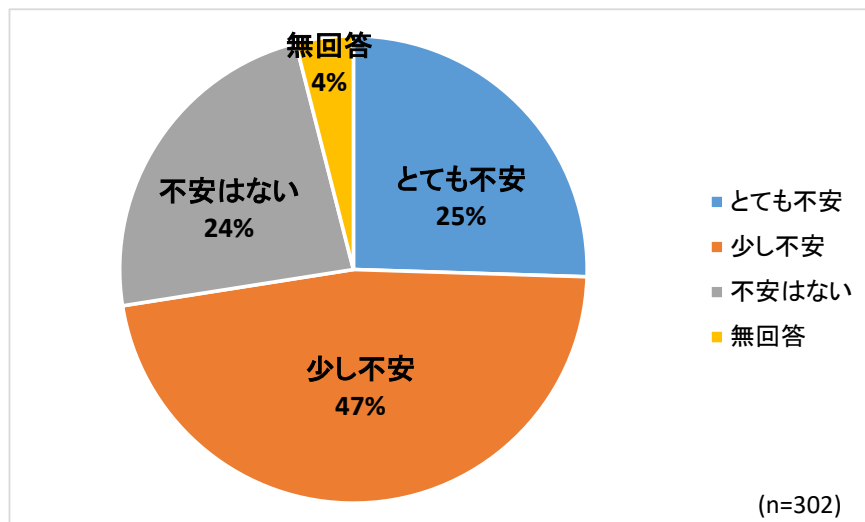


図 8 進学後に学費が支払えずに退学してしまうという不安

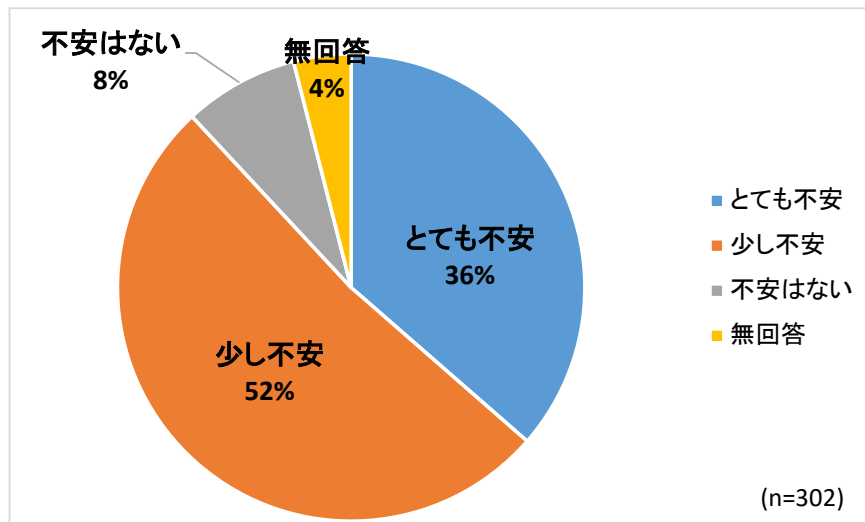


図 9 進学後に学費や生活費のためのアルバイト等で勉強が滞るという不安

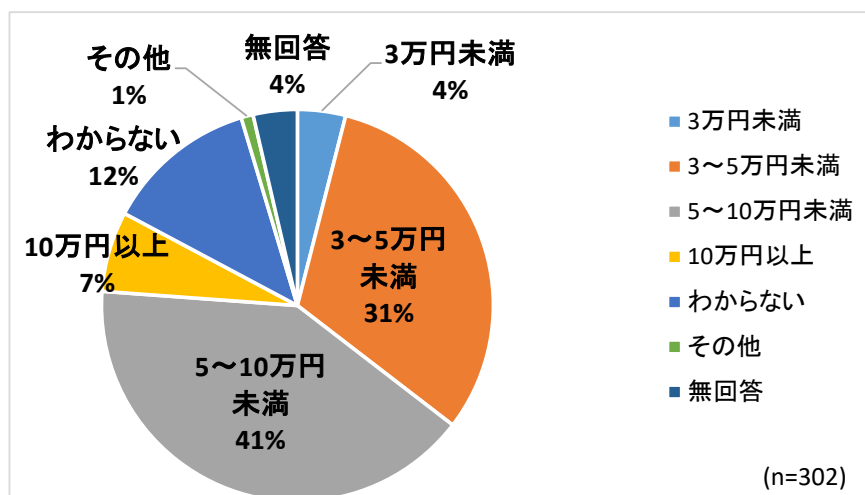


図 10 進学後にアルバイトで得たい毎月の収入

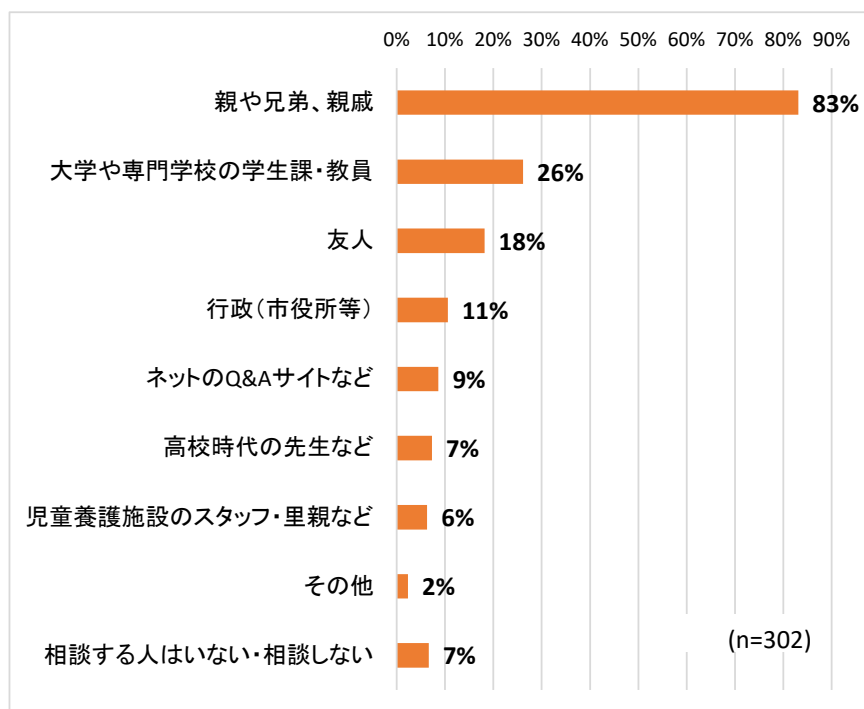


図 11 学費や生活費などお金について困った場合の相談先（複数回答）

表 3 現在抱えている悩みや困りごと
(自由回答、一部抜粋・引用者にて編集)

➤ **学費・生活費等の経済的な不安**

- 授業料などの経済的な事が一番の悩み。
- 4年間、学費をまとめて払い続けられるか心配です。
- 私立大学になったので、高く最後まで通えるか不安。
- 大学院に進学するとなった時の学費をアルバイトで貯めることができるか。
- 大学の学費以外に通学費や教材費などがどれくらいかかるのだろうと、不安です。
- パソコンなど最初に揃えるべき様々な物に対し必要なお金の準備に苦労しています。
- 大学に入学すると、同窓会費や教育会への入会など、今まで知らなかったことへのお金が必要で、工面に苦労しています。
- 奨学金が入るまで、生活費等をどうやって補えばいいか悩んでいます。
- 大学で英語圏に1年間の交換留学に行きたいのですが、生活費の負担が気になります。
- 家賃をはらい切れるかどうか。
- 大学進学のコストがかさみ、家族に負担をかけてしまうことが辛い。

➤ **アルバイトとの両立**

- 大学入学後の勉強やバイトの両立をしっかりとできるか不安です。
- 大学進学時にかかる費用がかなりあるので、家計が不安。アルバイトで、家計負担を減らすつもりだが、大学の授業と両立できるのかが不安。
- 大学進学を機に世帯分離をし、経済的に自立しなければならないため、学業に集中できるか不安です。

➤ **奨学金返済**

- 奨学金を満額借りる予定ですが、将来働いて返していけるかが不安です。

- 将来奨学金を返せるのか、給付型奨学金をいただけるほどの成績をキープできるのかが心配です。
- 将来返さなければならない奨学金の金額が大きくて不安が大きい。

➤ **一人暮らし**

- 一人暮らしがきちんと出来るかどうか。
- 自炊、掃除が一人でできるか不安です。
- 大学でかかる一人暮らしの費用などがうまくやりくりできるかどうか。

➤ **大学での学習**

- 初めて学習することばかりで少し不安です。
- 大学生活がどういうものなのか、勉強のレベルについていけるかがとても不安です。
- 未知なことなので、大学の授業についていけるか少し不安があります。

➤ **友人等との関係**

- 大学で友達ができるか。ちょっとした支出の時に周囲と合わせるのが難しい（昼食、持ち物、課外活動）。
- 大学に進学して新しい環境に慣れるのか、また、経済的に豊かな生徒と友達になれるのかが、不安です。
- 今まで、通信制で実際に通っていなかったもので、大学に行って毎日通えるかと人間関係で躓かないかが不安です。

➤ **その他**

- 就職活動をどのように行えばいいのかわからない。
- 将来への不安(就職など)。
- 弟たちの進学にかかるお金。
- 志望大学に行かなかったので、モチベーションが上がるか。
- 第1志望には合格していないので、頑張ったねといわれても「頑張ったのか？これは。」と疑問に思いもやもやしてしまう。これを頑張った認定すると、自分の限界を決めてしまうようで怖くなる。また、大学を休学してもう一度第1志望を目指すかどうか。

3.4 自身の気持ちと変化

本調査では、受験期間を終えた受給生に自身の気持ちについて質問している。これらの質問項目については、2022年7月の奨学金受給決定時にも同様の内容の聴取をしており、その結果についても併せて掲載する。

各質問に対して前向きな回答をした割合を、2022年7月と本調査で比較した結果は下表のとおり。複数の質問で、2022年7月と比較して前向きな回答の割合が減少している。

一方で、この1年での自身や気持ちの変化については、「以前より自分の将来に希望が持て、頑張ろうと思うようになった」(56%)が半数超、「人に相談したり、助けてもらったりすることが増えた」(46%)も約半数と、前向きな変化があったとする回答者が多い。

表 4 各質問への前向きな回答の割合

質問項目	第1回 (2022年7月)	第2回 (本調査)
周りの人に分の気持ちや情報を素直に伝えているか (「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計)	85%	74%
自分には夢や目標をかなえる力があると思うか (「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計)	88%	86%
自分は一人ぼっちだ、孤独だと感じることもあるか (「全くそう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)	59%	45%
自分の将来に不安を感じているか (「全くそう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)	26%	20%
大人になるのが楽しみか (「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計)	76%	61%
今の社会は公正だと思うか (「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計)	36%	26%
困っているとき周囲の大人や友人が助けしてくれると思うか (「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計)	88%	89%
困っているときに人に相談することはどれくらいあるか (「必ず相談する」と「ときどき相談する」の合計)	75%	71%
勉強を頑張りたいと思うか (「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計)	99%	99%
目標に向けて計画を立て、計画通り実行することは得意か (「とても得意である」と「まあ得意である」の合計)	71%	62%

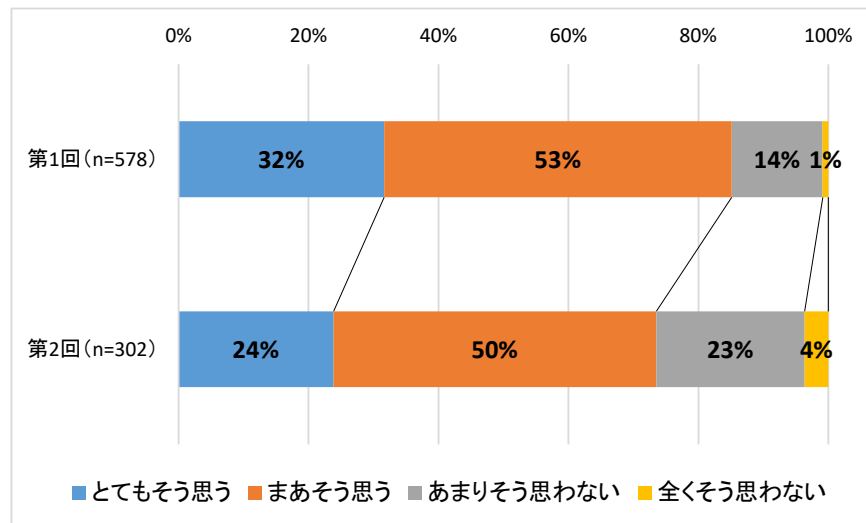


図 12 周りの人に自分の気持ちや情報を素直に伝えているか

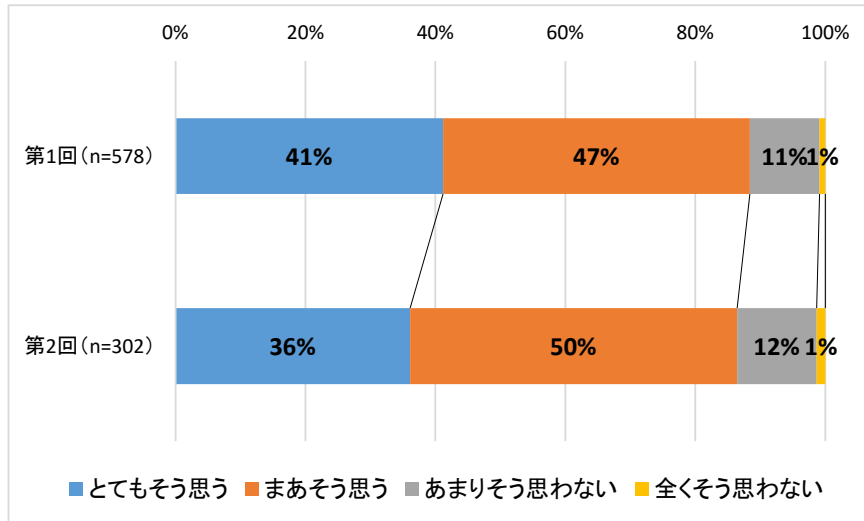


図 13 自分には夢や目標をかなえる力があると思うか

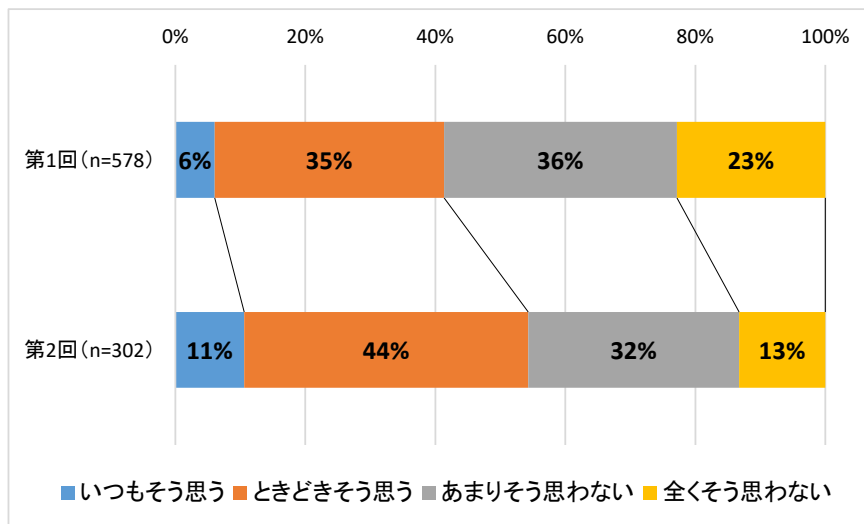


図 14 自分は一人ぼっちだ、孤独だと感じることもあるか

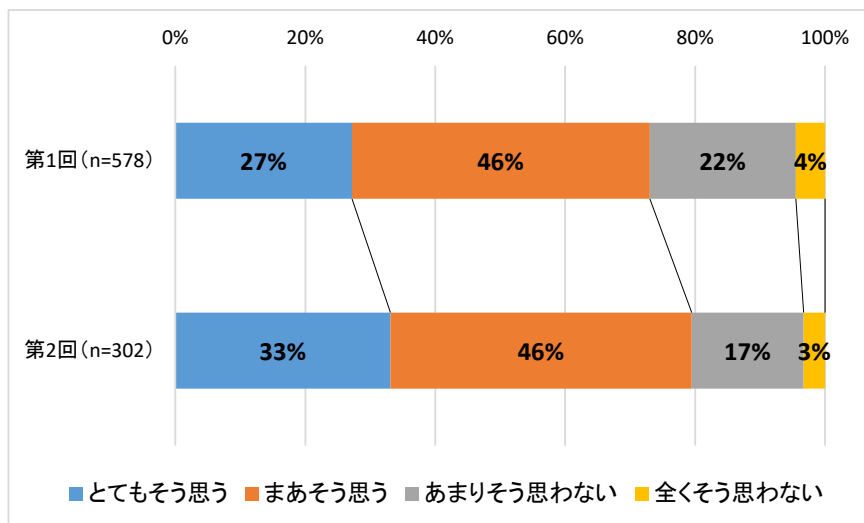


図 15 自分の将来に不安を感じているか

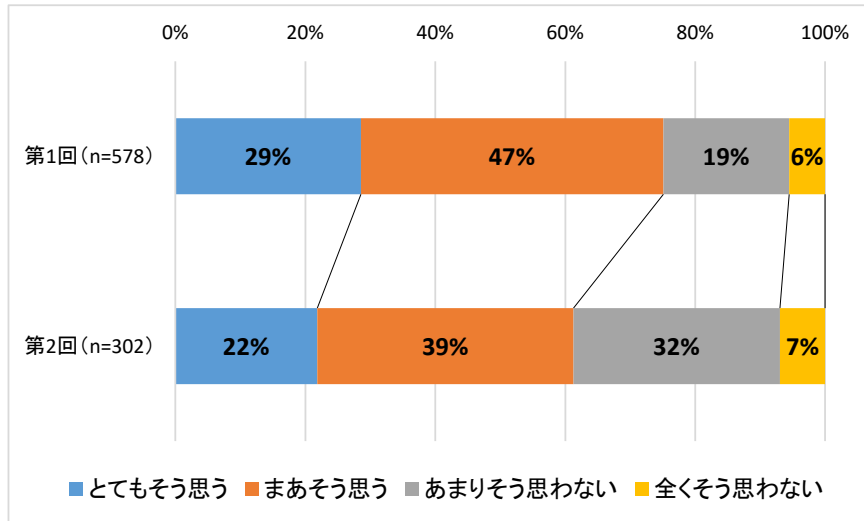


図 16 大人になるのが楽しみか

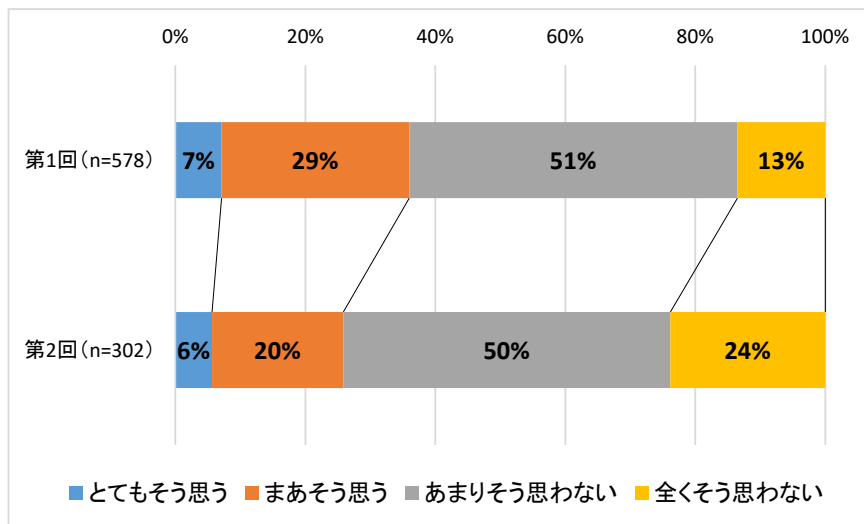


図 17-1 今の社会は公正だと思うか

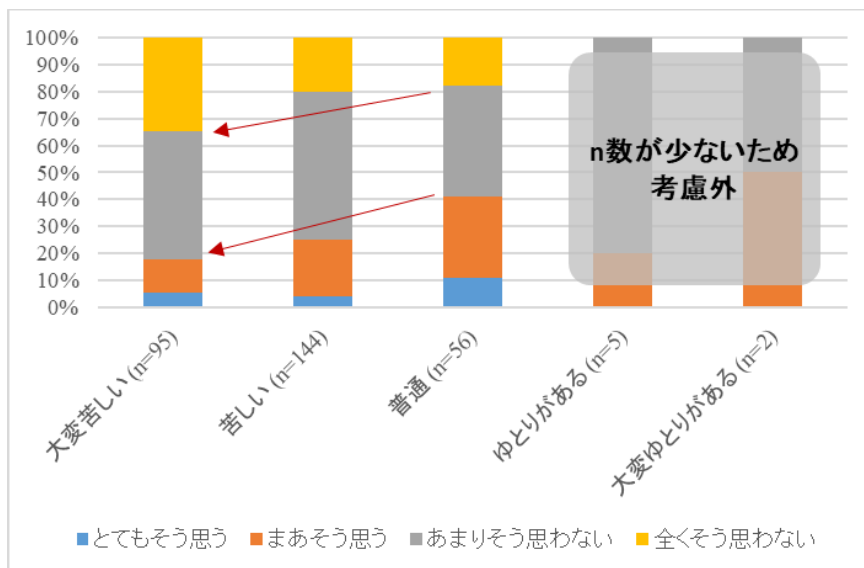


図 17-2 今の社会は公正だと思うか (家庭の経済状況とのクロス)

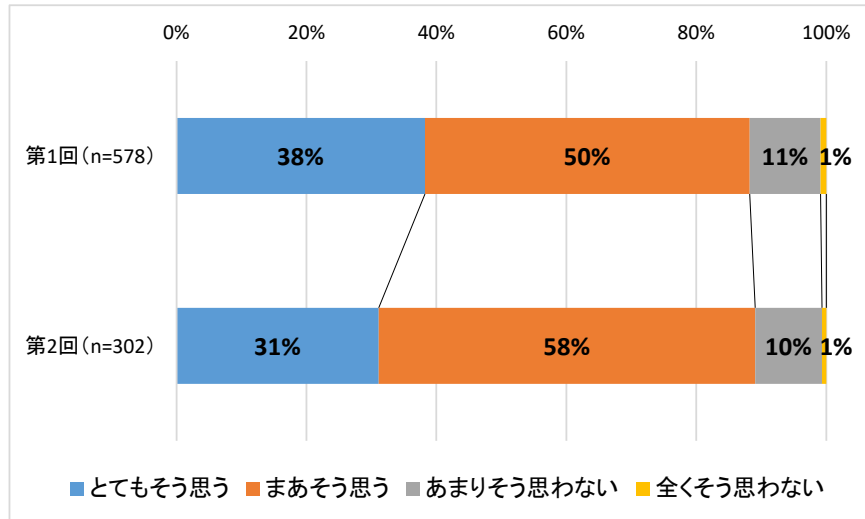


図 18 困っているとき、周囲の大人や友人が助けしてくれると思うか

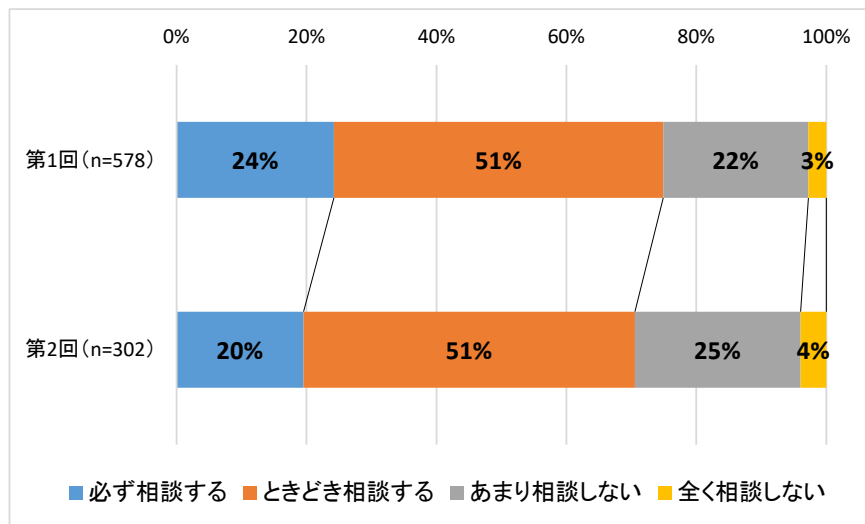


図 19 困っているときに、人に相談することはどれくらいあるか

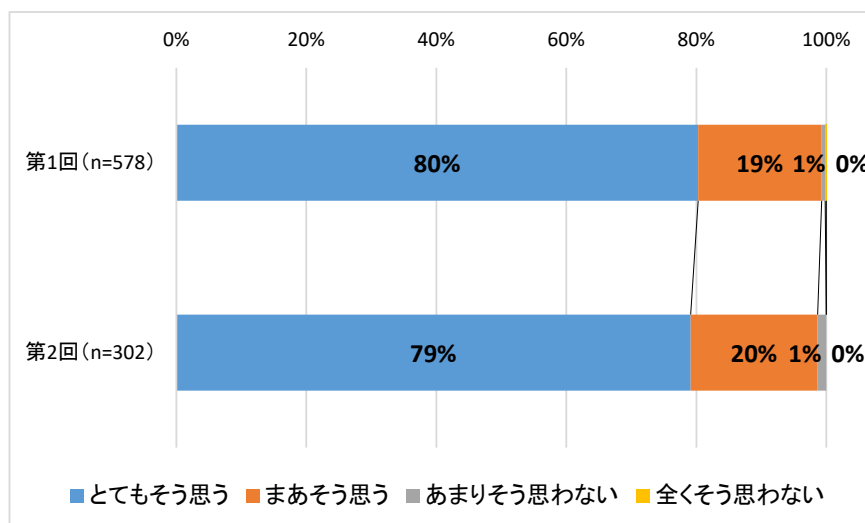


図 20 勉強を頑張りたいと思うか

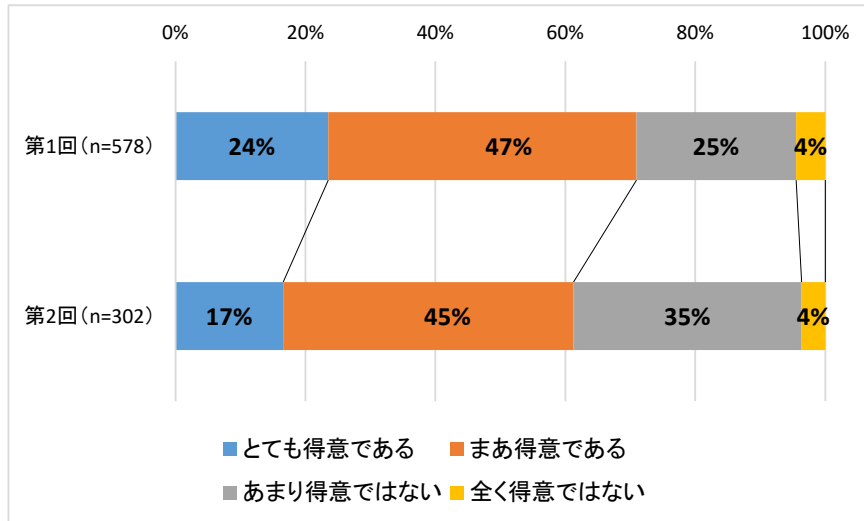


図 21 目標に向けて計画を立て、計画通り実行することは得意か

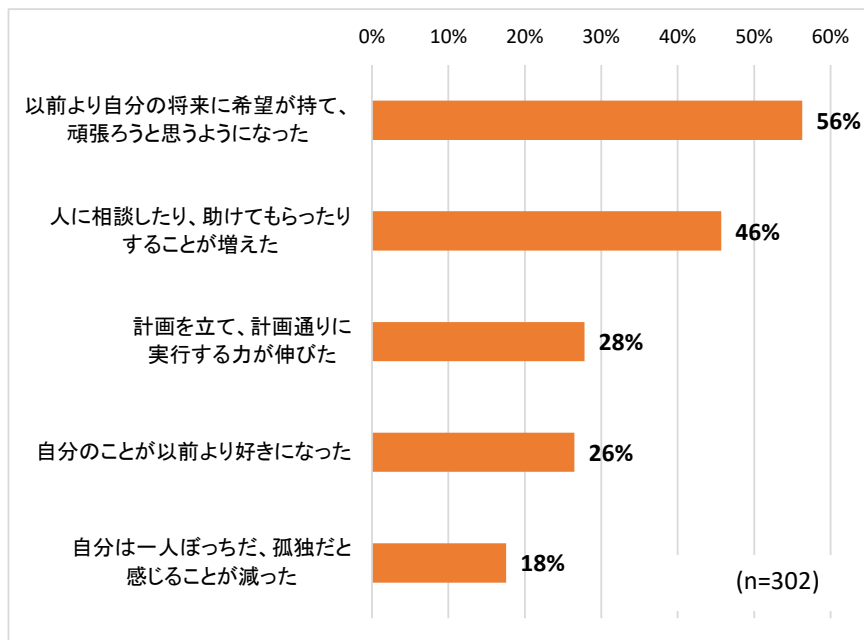


図 22 この1年での自身や気持ちの変化（複数回答）

3.5 受験をしてよかったと思うこと

「受験をしてよかったと思うか」という質問に対しては、約7割が「とてもそう思う」（72%）と回答した。「まあそう思う」（23%）と合わせると、全体の95%が受験をしたことを肯定的に捉えている。受験をしてよかったと思うことの内容としては、進学して関心のある分野について学べる、将来の夢に近づける、自分に自信がついた、努力する経験ができた、自分について知ることができた、支えてくれる人の存在に気づいたなど、様々な意見が寄せられた。

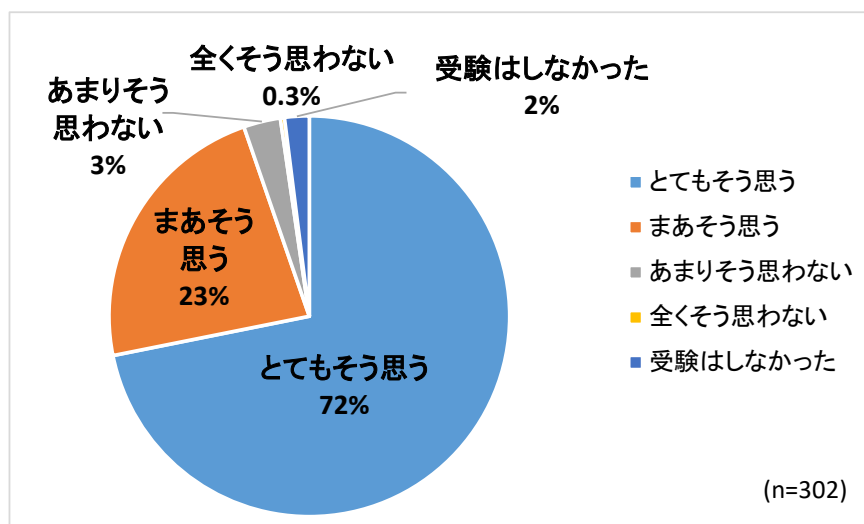


図 23 受験をしてよかったと思うか

表 5 受験をしてよかったと思うことの具体的な内容
(自由回答、一部抜粋・引用者にて編集)

➤ 進学できる、学びたいことが学べる

- これから自分の興味のある分野についてたくさん学ぶことができることです。授業の内容を見たときに改めてそう思います。
- 自分が学びたい分野の学習を専門的に学ぶことができること。
- 商学部に進学できることになり、ずっと学びたかった分野を沢山学べるから。
- 大学進学できること自体が夢だったので、本当に自分が受験勉強していることそのものに嬉しさを感じた。
- 大学生活が不安もありますが、すごく楽しみです。これからの未来に何が起きるのかワクワクが止まりません。生きる活力や精神的にも安定していると思います。
- 大学進学出来て良かったです。諦めて、就職してしまったら人生を後悔しそうだと思いました。

➤ 将来の夢に近づく、選択肢が広がる

- 看護師になるという夢を叶えるための一歩を踏み出した。
- 自分の夢を実現出来る道を切り開くことが出来たから。
- 高校の時は将来の事が全く想像できなかったが、受験して合格後は少し前向きに考えられるようになった。将来の職業について夢がもてるようになった。
- 私の夢は高校の先生になることです。大学合格は、その通過点であり大学合格は、大幅に夢を叶えることに繋がります。受験勉強を通して、とても視野が広がりました。今の日本の状態と日本史で習った昔のことを重ねて政治について考えたり、自分の意見を明確に持つことができるようになりました。
- 将来になりたい職業への道筋がはっきりとしたこと。今まで漠然と必要な資格や勉強について考えてきたが、受験をすることで、改めて将来の夢に必要な勉強に向き合うことができた。
- 将来について考えるときに受験をして良かったなと思います。大学に行けば将来の夢や目標を叶えられるし、将来の選択肢や視野が広がるし色々なことを学べるいい機会なので受験をして良かったなと思いました。

➤ **自分に自信がついた、自分を誇れるようになった**

- 困難な状況でも乗り切ることができる自信がついた。
- 自信を持って、自分の考えを伝えるようになったので、良かったと思いました。
- 自分がどこまで頑張れるかを知る事ができ、自信に繋がったことです。
- 今までなんとなく過ごしていたけれど、大学に行き、留学して視野を広げてみたいと思うようになり、周りの人達の助けを得ながら、大学に合格できたことは、ひとつの自信になったし、頑張ればなんとかなるといことが実感することができたのは、自分の中で大きな出来事でした。
- 希望の大学に行けなかったけど、最後まで勉強した自分に誇りをもちたい。
- 後輩や先生から、自分の事が「受験の目標」だと言われ、自分の事が誇らしく思えた。

➤ **努力する経験や成功体験を得られた**

- 今までの努力を結果に繋げることができた。自信を喪失した時に、この経験を思い出して自己肯定感を高めることができるから。
- 努力すれば結果が付いてくるという事を学べたからです。
- 目標に向けて一生懸命努力することを経験できたから。
- 自分の将来を少しでも良くしたいと思ったので、受験をして良かったと思います。苦手な面接も克服することができ、受かった時の喜びは頑張ってきた努力の証だと思います。いい経験ができました。
- 自分の限界を越えられることができたことです。何かに挑戦している時、前まではすぐに諦めてしまうことが多かったです。しかし、受験を経験して、諦めないこと、継続することの大切さや、努力は報われることを身をもって知ることが出来ました。だから、受験以来、積極的に挑戦することが増えました。自分の可能性を信じられるようになり、考え方もポジティブになったと思います。
- 努力すれば結果に出る……だから、努力しました。勉強出来る環境を作るために、昼も夜も、お盆も正月も塾の自習室で勉強しました。行きたい大学を定め、なかなかレベルに届かず苦戦したけど、頑張れば届くと信じて、最後まで諦めなかった。その結果が、共通一次の点数に出た時、頑張ってきて良かったと思いました。頑張れば、諦めなければ、道は開くと、実感出来ました。

➤ **自分を知ること、見つめ直すことができた**

- 自分にはこんな才能があるんだと気付くことが出来た。
- 自分に向き合うことが増えたと思います。自分ができない原因を考えることなどを通じて自分がどのような人間なのかをもう一度見直すことができました。
- 自分の学力や知識などを知ることができること。実際に受験した時や勉強をしている時に思う。自分に必要なものや足りないものできていないことなどを知ることができると思うから。
- 自分の問題に向き合うことで、精神的に成長できたと思うから。そして、勉強を通して視野を広げられ、思考の質が上がったと思ったから。
- 自分を見つめる時間が増え、性格的課題、学習面での課題を真剣に考えて、解決しようとしたとき
- 自分自身の弱さを知り成長できたことです。思うように点数が取れず、努力が実らなかったときに、自分の取り組み方を反省し、改善に務めました。

➤ **支えてくれる人の存在に気づいた、人間関係が広がった**

- 周りの人にこんな生活環境の中よく頑張ったねと言ってもらえた時に心がじーんと熱くなりました。
- 親が全面的に応援してくれて有り難みを実感できたから。
- 私は受験時期が他の人より早かったのですが、たくさんの友達や先生方が応援してくださり、合格した時は私と同じくらい喜んでくれて、受験を通して人間関係がより強くなったと思ったから。
- 受験を通して、周りの人が支えて助けてくれた時に自分が恵まれていることを実感出来たから。
- 母と将来のことや家計のことについて話しあうようになったことです。私の将来に対する母のおもいや、家計の状況など、知らないままではいけないと思っていたので、話せる機会ができてよかったです。
- 新しい仲間との出会いがあったから。夢に1歩近づいたから。
- 友達との絆や一体感を感じられたから。

➤ **その他**

- 継続して物事を続ける力がついた。
- 計画的に行動することができるようになった。
- 自分の目標に向かって日々の努力を計画的に行う力がついたと考えるから。
- 受験勉強をする上で、計画→実行を自分でやりきる術を身につけられた。これは今後の生活にも応用できると思う。計画を立てる時など、自分を見つめなおす機会が多かったので、自分の特性を理解することが出来た。
- 集中力が身についた。
- 精神力や忍耐力、持久力を培うことが出来た。受験生の時は、夏休みが最も辛く感じ、毎日のように泣いて弱音を吐いていたが、それを乗り越えたことで自信が付き、ペースを上げて勉強し続けることが出来た。また、受験生になる前よりも人間として強くなれたと思う。
- 面接などの練習でコミュニケーション能力が上がったと感じたから。

3.6 高校生活の満足度、勉強や食事、家庭の経済状況

高校生活の満足度については、「とても満足している」が38%、「まあ満足している」が41%と全体の約8割が満足しているとの結果となった。2022年7月の調査と比較すると、「まあ満足している」との回答が47%から41%に減少している。

「ふだん、家でどれくらい勉強するか」という質問には、「ほとんど毎日（週に6～7日）」（34%）との回答が最も多い。2022年7月の調査では「ほとんど毎日（週に6～7日）」は54%であり、受験期間が終わり、勉強する日数が減っていることが推察される。「PCを持っているか」では、「自分専用のPCあり」との回答が、2022年7月の21%と比べて本調査では44%に増加している。

「平日（学校に行く日）に、毎日、朝ご飯を食べるか」という質問に対しては、「いつも食べる（週に5日）」が65%と最多であった。

家庭の経済的な状況については、苦しいと感じている回答者が約8割であり（「大変苦しい」（31%）と「苦しい」（48%）の合計）、2022年7月時点と同様の傾向であった。

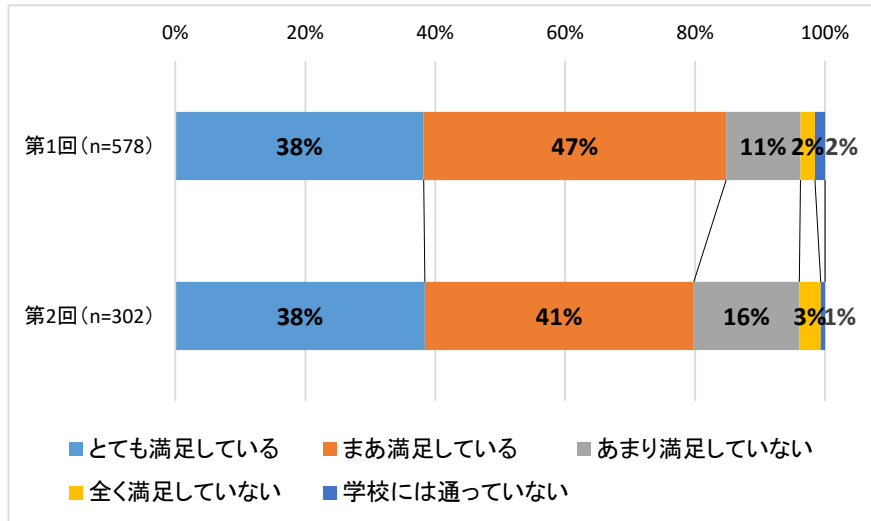


図 24 高校生活の満足度

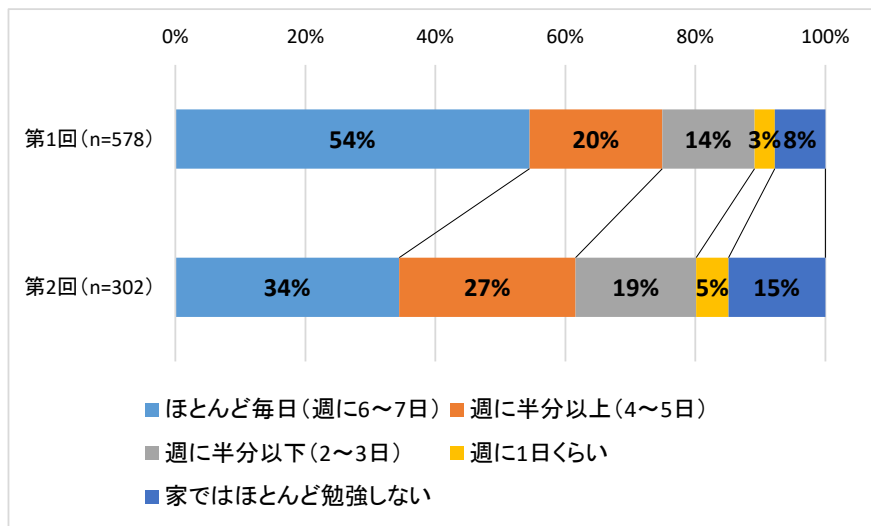


図 25 ふだん、家でどれくらい勉強するか

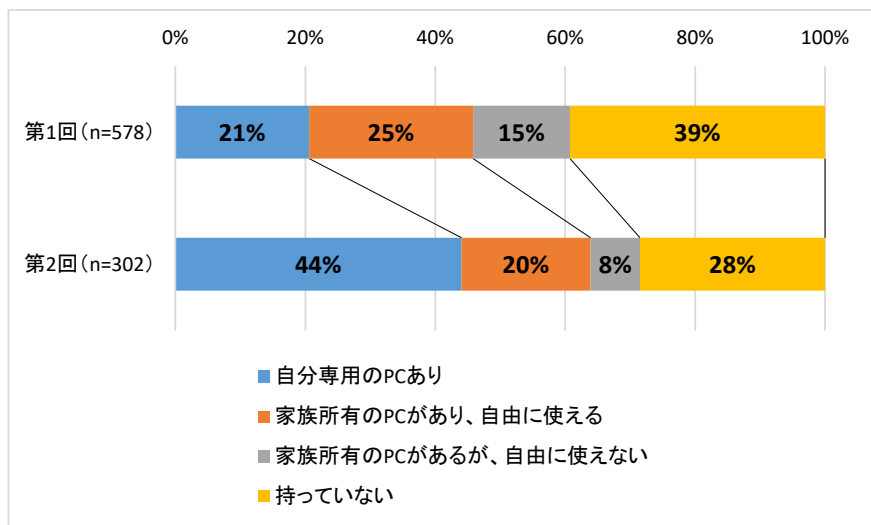


図 26 PCを持っているか

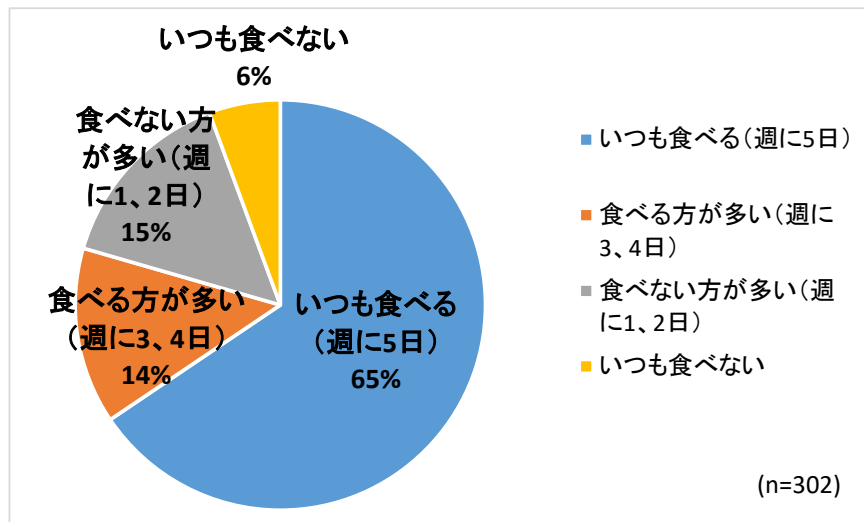


図 27 平日（学校に行く日）に、毎日、朝ごはんを食べるか

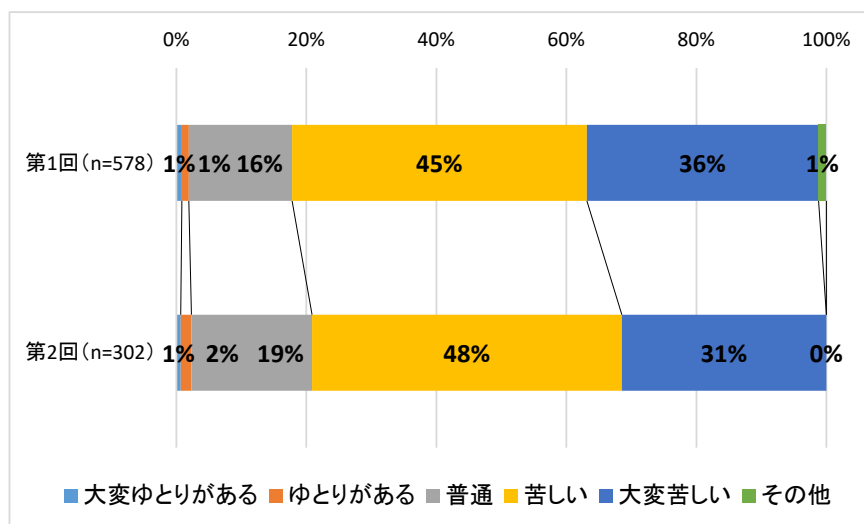


図 28 現在の家庭の経済的な状況をどのように感じているか

3.7 GS 奨学金と受給生伴走支援

ほぼ全ての回答者が、GS 奨学金は受験の後押しになったと回答した。受給生に文房具等を送る応援パックや受験関連情報の配信といった伴走支援に対しても、「とても満足している」・「まあ満足している」との回答が多数を占めた。支援企業のゴールドマン・サックスへのメッセージでは、受験応援金と入学準備金の支給、受験応援グッズや情報配信等の支援が、受給生の経済的負担と精神的負担を軽減し、受験期間や入学準備に非常に役立ったことを伝える声が多数寄せられた。

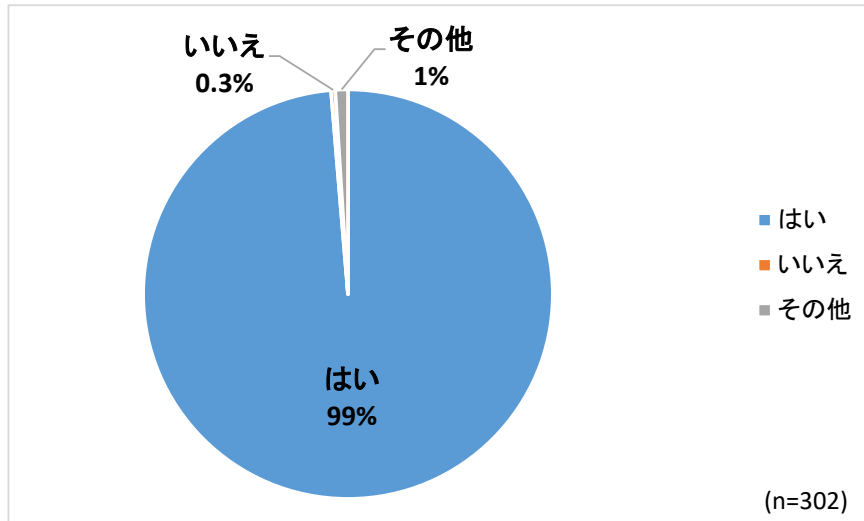


図 29 GS奨学金は受験の後押しとなったか

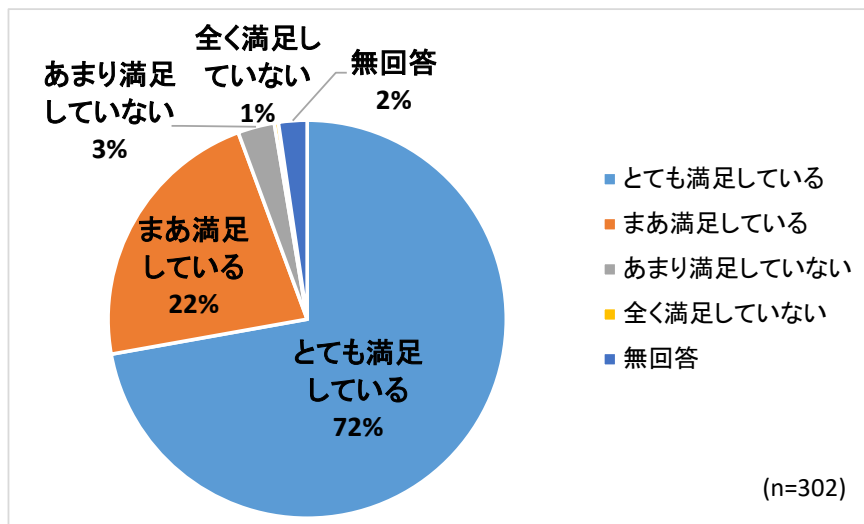


図 30 応援パックの満足度

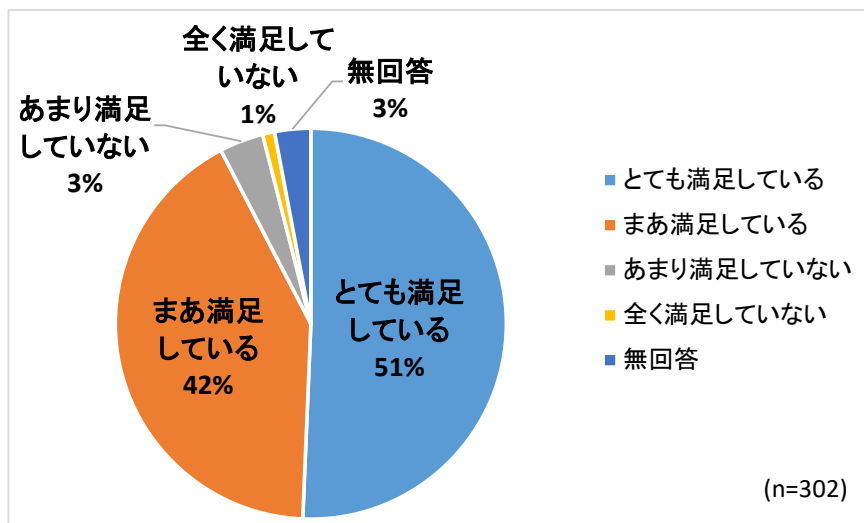


図 31 LINEでの情報配信の満足度

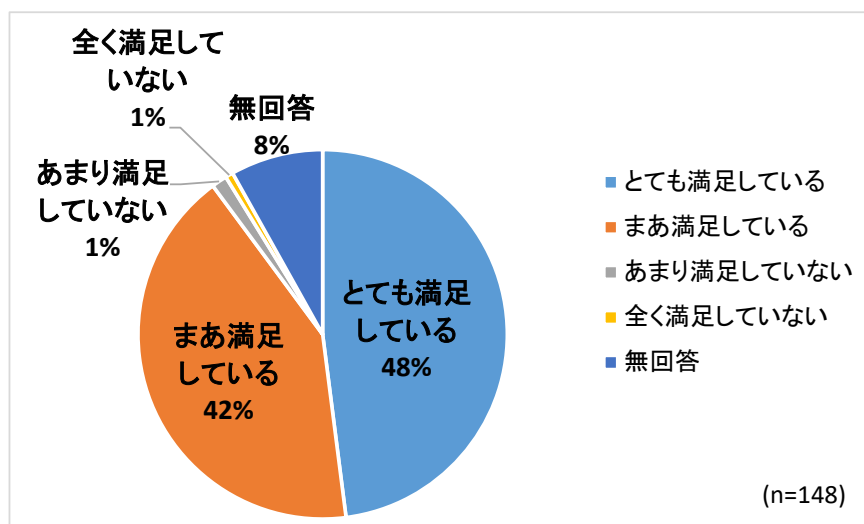


図 32 オンラインイベントの満足度²

表 6 支援企業のゴールドマン・サックスへのメッセージ
(自由回答、一部抜粋・引用者にて編集)

- ゴールドマン・サックスさんの奨学金のお陰で塾に通わずに、学校のサポートと奨学金で買った教材で第一志望校に合格することができました。本当にありがとうございました。
- いつも支援してくださりありがとうございました。御社の支援のおかげで無事第一志望に合格することができました。大学ではしっかりと学問を修め、無事卒業して医療従事者として日本の医療に貢献していきます。
- いままでのご支援ありがとうございました。支援いただいたおかげで私立の受験を視野にいろることができたり、参考書や問題集を渋らずに購入することができました。私自身とても助かりました。私のような他の方にも選択肢を広げるために今後とも支援をして社会をより良くしていただければ幸いです。
- 企業の奨学金があることを、母から聞いて、申し込みして、頂けることになった時は進学時の親への負担が少しはなくなるだろうと嬉しかったです。県外の学校の受験は諦めていたけど、母と奨学金の後押しがあり、県外大学の受験を諦めることなく、挑戦することが出来ました。結果は、届きませんでした。受験しなかったら、1度きりの人生に、悔いが残ったと思います。第2志望ではあるけど、地元の国立大学に受かったのも、そこで学び、また、院進学時に再チャレンジしたいと思っています。ありがとうございました。
- 金銭面だけでなく、LINE での模試や受験対策のアドバイスなど、色々とお助けくださり、ありがとうございました。素敵な支援のおかげで、中学からずっと行きたかった大学に合格することができました。もし、このようなサポートがなかったら、諦めていたと思います。今、本当に大学に通えること自体が夢のようです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。大学で、たくさんの知識を身につけたり、経験を積んだりして、みなさんのように未来の子供たちが自分の夢を叶えられるようにサポートできる人になれるように頑張ります！改めて、本当にありがとうございました！
- 大学進学後の支援は充実しつつありますが、受験そのものへの支援は少ないです。そうした中で、受験そのものへの支援をしてくださったゴールドマン・サックスの皆様には深く感謝しております。今後も、皆様への感謝の気持ちを忘れずに勉学に励みたいと思います。支援して頂

² オンラインイベントに参加していないと回答した回答者を除いた者が対象。

きありがとうございます。受験料も高く県外への受験のため費用がかかりましたが支援金のおかげで、不安が解消されました。

- 受験期間のご支援、ありがとうございました。たくさんの学校は受けられないので、志望校は1つに絞ろうと思っていたのですが、少し上のレベルの学校にも挑戦することができました。おかげさまで悔いなく進学できます。
- 皆様からの奨学金のことが支えになり受験を頑張れました。ありがとうございました！
- ゴールドマン・サックス様の支援によって少しお金の心配をする必要が減りました。これからも経済的理由で進学を断念する人を減らすため、活動を続けていただきたいです。
- 1年間本当にお世話になりました。ゴールドマン・サックスからの奨学金としての支援だけでなく、メッセージや、文房具など、様々な面での励ましから受験を乗り越えることが出来たと思います。本当にありがとうございました。
- ゴールドマン・サックス様のおかげで受験を終えることが出来ました。定期的にノートやカイロ鉛筆やカレンダーを送ってくださったのがとても心強かったです。私は浪人したので支援してくれる団体も少なく正直とても不安でしたがゴールドマン・サックス様のおかげで夢を諦めずに済みました。ありがとうございます。研究分野で活躍し、社会に還元できるように努めます。
- この度は、奨学生として私の大学進学をご支援いただきありがとうございます。奨学金支給はもちろんのこと、受験期のホッカイロやお菓子、ノートなどの支給はとても助かりました。また、公式LINEでの励ましのお言葉やアドバイスにより、安心して希望する進学先に合格することが出来ました。これからも学業に励み、目標としているCAになれるよう精進して参ります。また機会がありましたらどうぞよろしくお願い致します。
- 金銭的な不安を拭えた状態で受験に望めて良かったです。文房具やメッセージなどのサポートにも救われました。金銭的にも精神的にもサポートしてくださりありがとうございます。
- いただいたお金でパソコンを買おうと思います。最後まで応援ありがとうございました。
- この様な支援をして頂き、本当に有難く感謝しています。前期の5万円は受験料に、後期の10万円は大学で必要となるパソコンの購入に充てさせて頂きました。春から大学生として、しっかり勉強と自立を頑張っていきたいと思います。
- ご支援いただきありがとうございました。いただいた支援金で授業料を払うことができました。これからも継続して大学進学を目指す人を応援してください。
- ご支援いただきありがとうございます。頂いた十五万円のおかげで、入学金が無事支払えました。残った学費は自ら頑張ります。
- 今回、私自身は縁があり最終的に就職の道を選びましたが、ご支援があることで大学受験にチャレンジする人は増え、将来の選択肢が増えると思います。これからも社会的養護の中で育つ子どもを応援してください。ご支援いただきありがとうございました。

以上